

男女共同参画に関する町民意識調査

【青 少 年】

もくじ

調査の概要

- 1 . 調査の目的
- 2 . 調査項目
- 3 . 調査の性格
- 4 . 標本特性
- 5 . 調査結果利用上の注意

調査結果の分析

第1章 男女平等に関する考え方について

- 1 . 男女の地位の平等感
- 2 . 男女に関する意見について
- 3 . 性別役割分担意識

第2章 日ごろの生活や考えていることについて

- 1 . 家庭内の状況
- 2 . 家事の状況
- 3 . 父親との会話の状況
- 4 . 母親との会話の状況
- 5 . 家庭生活の満足度
- 6 . 希望する暮らしや生き方
- 7 . 自分自身にあてはまること

第3章 暴力などの人権侵害について

- 1 . 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の認知度
- 2 . 「デートDV」の認知度
- 3 . 彼氏／彼女との関係についての考え方
- 4 . 彼氏／彼女との関係
- （1）彼氏／彼女の有無
- （2）彼氏／彼女へしたことがある行為
- （3）彼氏／彼女からされたことがある行為
- （4）相談先
- 5 . DV防止の啓発を行う時期について
- 6 . 学校教育で教わった性教育の内容

第4章 男女共同参画社会づくりについて

- 1．法律や制度等の認知状況
- 2．男女共同参画のイメージ

自由回答

付属資料

使用した調査票

調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、苅田町における男女共同参画意識について町民の意識と実態を把握し、第3次苅田町男女共同参画行動計画策定のための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査項目

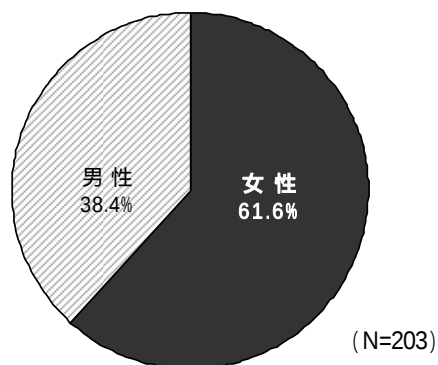
- (1) 男女平等に関する考え方
- (2) 日ごろの生活や考えていること
- (3) 暴力などの人権侵害について
- (4) 男女共同参画社会づくりについて

3. 調査の性格

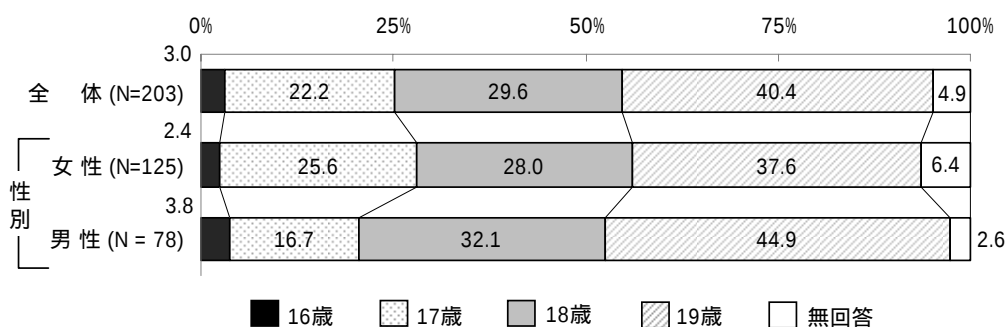
- | | |
|----------------|---------------------------------|
| (1) 調査地域 | 苅田町全域 |
| (2) 調査対象者 | 16歳以上19歳以下の男女700人 |
| (3) 回収率 | 有効回収数 203人 有効回収率 29.0% |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳から無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 平成23年8月26日～9月15日 |
| (7) 調査企画 | 苅田町総務部人権男女共同参画課 |
| (8) 調査実施機関 | 西日本新聞マーケティング室 |
| (9) 調査結果の分析と監修 | 分析
監修 武藤 桐子 (福岡ジェンダー研究所 研究員) |

4. 標本特性

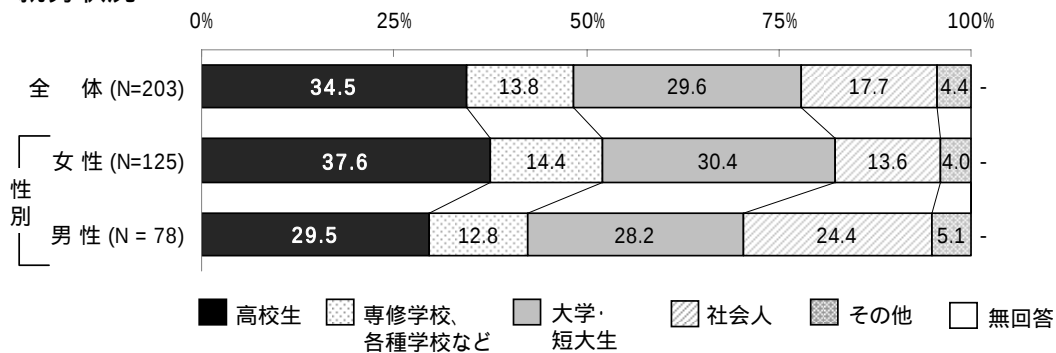
性別



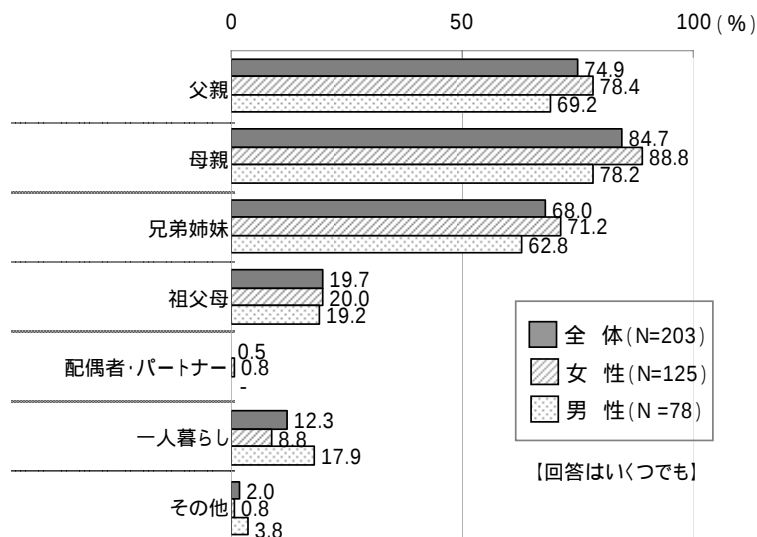
年齢



就学・就労状況



同居家族



5. 調査結果利用上の注意

- (1) 数表、図表に示すNは、比率算出上の基数（標本数）である。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- (2) 文中の数字は、百分比の小数以下第2位を四捨五入しているので、回答比率の合計は必ずしも100%とはならない。
- (3) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は原則として100%を超える。
- (4) 数表中の「 - 」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。
- (5) 問○ - ○、問○ - ○ - ○等は、前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。

調査結果の分析

青少年調査

調査結果の分析

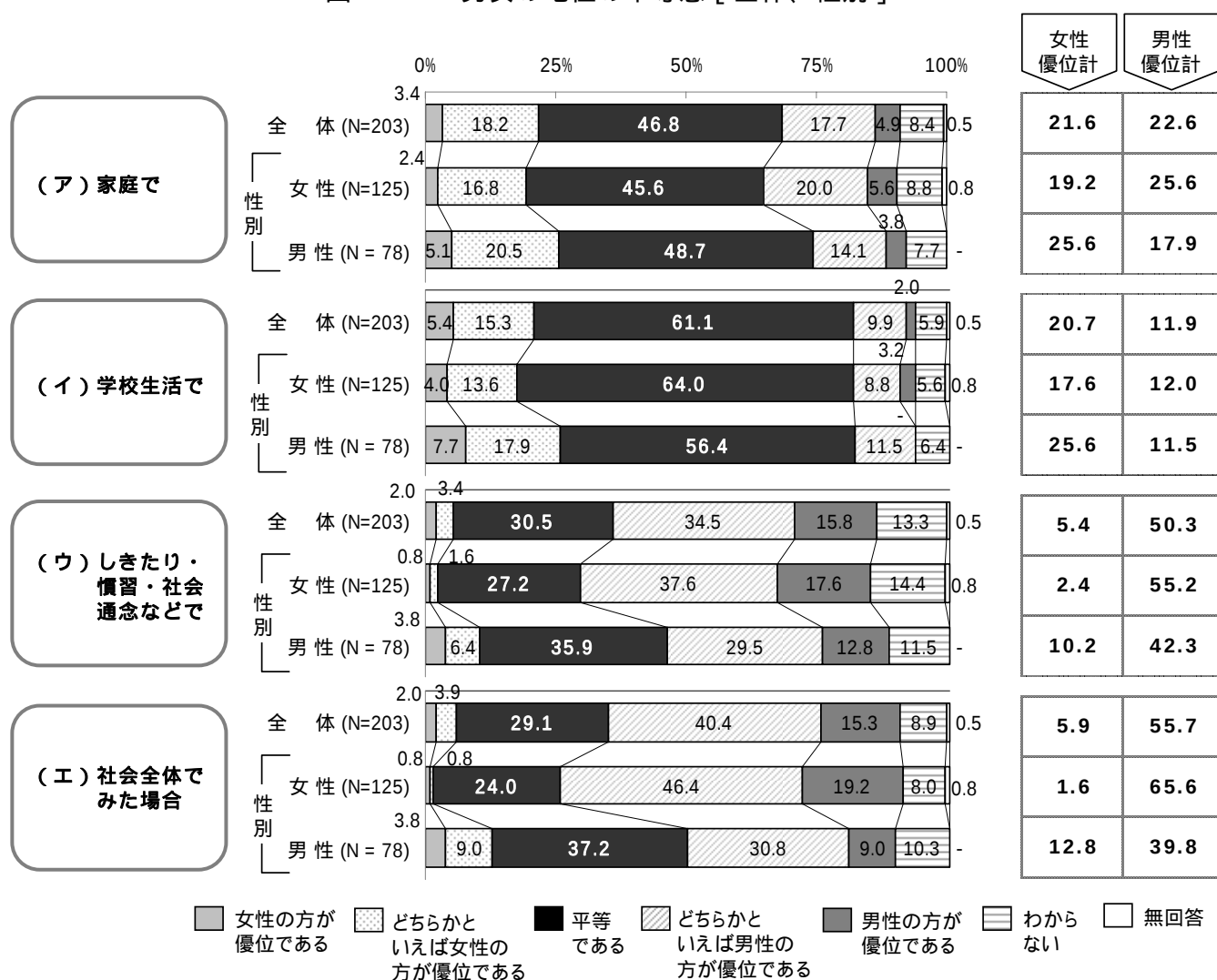
第1章 男女平等に関する考え方について

1. 男女の地位の平等感

問1. あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
 (ア)～(エ)の各分野ごとに、あなたの考えに最も近いものを選んでください。
 (○印は1つつ)

- 「しきたり・慣習・社会通念など」「社会全体でみた場合」に「平等である」と感じている人は約3割。
- 女性は『男性優遇』、男性は『女性優遇』『平等である』と感じている。

図1-1 男女の地位の平等感 [全体、性別]



4つの分野において、男女の地位が平等になっていると思うかをたずねたところ、「平等である」の割合が最も高い分野は「(イ)学校生活で」(61.1%)となっており、約6割が平等と感じている。次いで「(ア)家庭で」(46.8%)であるが5割を下回っている。「(ウ)しきたり・慣習・社会通念などで」では「男性の方が優位である」と「どちらかといえば男性の方が優位である」を合わせた『男性優位』が50.3%、また「(エ)社会全体でみた場合」も55.7%と5割を超えており、「平等である」はいずれも約3割に過ぎない。

性別にみると、女性は「(イ)学校生活で」の「平等である」が64.0%と男性(56.4%)よりも7.6ポイント高いが、「(ウ)しきたり・慣習・社会通念などで」や「(エ)社会全体でみた場合」は男性の方が「平等である」が約9～13ポイント高くなっている。また、いずれの分野も『男性優位』の割合は女性の方が高く、「平等である」や「女性の方が優位である」と「どちらかといえば女性の方が優位である」を合わせた『女性優位』の割合は男性の方が高い傾向がみられ、異性の方が優遇されていると見なしがちであることを示している。

属性別特徴

年齢別にみると、「(エ)社会全体でみた場合」に「平等である」とする割合が、男女ともに18歳で低くなっており、進学や就職を経験する年齢で不平等を感じる人が多いことを示唆する結果となっている。

就学・就労状況別にみると、女性の大学・短大生において、「(エ)社会全体でみた場合」に「平等である」が18.4%と低く、『男性優位』が79.0%となっている。女性の社会人も、同様の傾向が見られ、社会へ出る手前、もしくは実際に出た後で不平等を感じるが多くなるようである。

表1-1 男女の地位の平等感〔全体、年齢別、就学・就労状況別〕

(%)

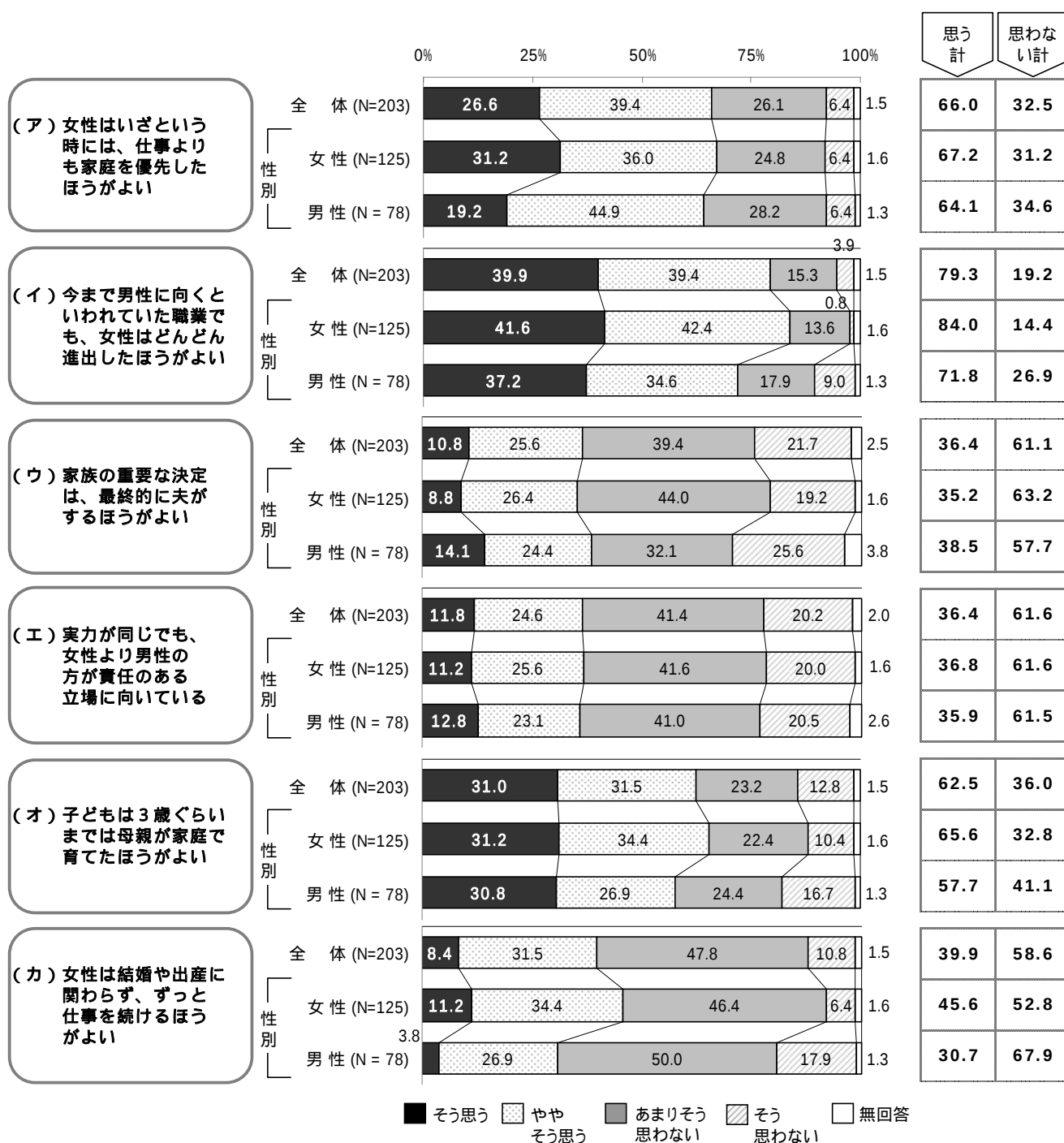
		標 本 数	(ア)家庭で									(イ)学校生活で								
			る女性の方が優位である	性の方が優位である	どちらが優位である	性の方が優位である	男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位計	男性優位計	る女性の方が優位である	性の方が優位である	どちらが優位である	性の方が優位である	男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位計	男性優位計
全 体		203 100.0	7 3.4	37 18.2	95 46.8	36 17.7	10 4.9	17 8.4	1 0.5	44 21.6	46 22.6	11 5.4	31 15.3	124 61.1	20 9.9	4 2.0	12 5.9	1 0.5	42 20.7	24 11.9
年 齢 別	女性:16歳	3	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3
	女性:17歳	32	3.1	21.9	40.6	15.6	3.1	15.6	-	25.0	18.7	6.3	9.4	62.5	12.5	6.3	3.1	-	15.7	18.8
	女性:18歳	35	2.9	14.3	45.7	22.9	2.9	11.4	-	17.2	25.8	2.9	11.4	77.1	2.9	-	5.7	-	14.3	2.9
	女性:19歳	47	2.1	17.0	44.7	19.1	10.6	4.3	2.1	19.1	29.7	4.3	21.3	57.4	6.4	4.3	4.3	2.1	25.6	10.7
	男性:16歳	3	-	66.7	33.3	-	-	-	-	66.7	-	33.3	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-
	男性:17歳	13	7.7	23.1	38.5	15.4	15.4	-	-	30.8	30.8	7.7	38.5	46.2	7.7	-	-	-	46.2	7.7
	男性:18歳	25	4.0	8.0	64.0	8.0	-	16.0	-	12.0	8.0	-	8.0	68.0	20.0	-	4.0	-	8.0	20.0
男性:19歳	35	5.7	22.9	42.9	20.0	2.9	5.7	-	28.6	22.9	11.4	17.1	51.4	8.6	-	11.4	-	28.5	8.6	
無回答	10	-	20.0	50.0	30.0	-	-	-	-	20.0	30.0	-	10.0	50.0	20.0	-	20.0	-	10.0	20.0
就 学 ・ 就 労 状 況 別	女性:高校生	47	2.1	17.0	44.7	19.1	2.1	14.9	-	19.1	21.2	6.4	8.5	68.1	10.6	4.3	2.1	-	14.9	14.9
	女性:専修学校、 各種学校など	18	5.6	16.7	61.1	-	11.1	5.6	-	22.3	11.1	-	22.2	72.2	-	-	5.6	-	22.2	-
	女性:大学・短大生	38	-	15.8	39.5	28.9	10.5	2.6	2.6	15.8	39.4	5.3	10.5	63.2	7.9	2.6	7.9	2.6	15.8	10.5
	女性:社会人	17	5.9	11.8	47.1	29.4	-	5.9	-	17.7	29.4	-	17.6	52.9	11.8	5.9	11.8	-	17.6	17.7
	女性:その他	5	-	40.0	40.0	-	-	20.0	-	40.0	-	-	40.0	40.0	20.0	-	-	-	40.0	20.0
	男性:高校生	23	8.7	26.1	39.1	8.7	8.7	8.7	-	34.8	17.4	13.0	26.1	47.8	8.7	-	4.3	-	39.1	8.7
	男性:専修学校、 各種学校など	10	-	20.0	60.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	30.0	50.0	10.0	-	10.0	-	30.0	10.0
	男性:大学・短大生	22	-	18.2	59.1	13.6	-	9.1	-	18.2	13.6	9.1	18.2	72.7	-	-	-	-	27.3	-
男性:社会人	19	5.3	21.1	42.1	15.8	5.3	10.5	-	26.4	21.1	-	5.3	57.9	26.3	-	10.5	-	5.3	26.3	
男性:その他	4	25.0	-	50.0	25.0	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	-	25.0	25.0	-	25.0	-	25.0	25.0
		標 本 数	(ウ)しきたり・慣習・社会通念などで									(エ)社会全体でみた場合								
			る女性の方が優位である	性の方が優位である	どちらが優位である	性の方が優位である	男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位計	男性優位計	る女性の方が優位である	性の方が優位である	どちらが優位である	性の方が優位である	男性の方が優位である	わからない	無回答	女性優位計	男性優位計
全 体		203 100.0	4 2.0	7 3.4	62 30.5	70 34.5	32 15.8	27 13.3	1 0.5	11 5.4	102 50.3	4 2.0	8 3.9	59 29.1	82 40.4	31 15.3	18 8.9	1 0.5	12 5.9	113 55.7
年 齢 別	女性:16歳	3	-	-	-	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-	-	33.3	66.7	-	-	-	-	66.7
	女性:17歳	32	3.1	-	28.1	34.4	12.5	21.9	-	3.1	46.9	3.1	-	31.3	37.5	18.8	9.4	-	3.1	56.3
	女性:18歳	35	-	5.7	34.3	28.6	14.3	17.1	-	5.7	42.9	-	2.9	17.1	51.4	14.3	14.3	-	2.9	65.7
	女性:19歳	47	-	-	21.3	44.7	23.4	8.5	2.1	-	68.1	-	-	21.3	46.8	25.5	4.3	2.1	-	72.3
	男性:16歳	3	-	-	66.7	-	33.3	-	-	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-	-	-	-	33.3
	男性:17歳	13	7.7	7.7	46.2	30.8	-	7.7	-	15.4	30.8	7.7	7.7	46.2	23.1	15.4	-	-	15.4	38.5
	男性:18歳	25	-	4.0	36.0	44.0	8.0	8.0	-	4.0	52.0	4.0	4.0	28.0	40.0	8.0	16.0	-	8.0	48.0
	男性:19歳	35	5.7	8.6	28.6	20.0	20.0	17.1	-	14.3	40.0	2.9	14.3	37.1	25.7	8.6	11.4	-	17.2	34.3
無回答	10	-	-	40.0	40.0	10.0	10.0	-	-	50.0	-	-	40.0	50.0	10.0	-	-	-	60.0	
就 学 ・ 就 労 状 況 別	女性:高校生	47	2.1	2.1	29.8	31.9	17.0	17.0	-	4.2	48.9	2.1	-	29.8	44.7	17.0	6.4	-	2.1	61.7
	女性:専修学校、 各種学校など	18	-	-	44.4	38.9	5.6	11.1	-	-	44.5	-	-	38.9	33.3	11.1	16.7	-	-	44.4
	女性:大学・短大生	38	-	2.6	21.1	44.7	21.1	7.9	2.6	2.6	65.8	-	-	18.4	55.3	23.7	-	2.6	-	79.0
	女性:社会人	17	-	-	23.5	35.3	23.5	17.6	-	-	58.8	-	5.9	11.8	41.2	23.5	17.6	-	5.9	64.7
	女性:その他	5	-	-	-	40.0	20.0	40.0	-	-	60.0	-	-	-	60.0	20.0	20.0	-	-	80.0
	男性:高校生	23	4.3	4.3	34.8	30.4	8.7	17.4	-	8.6	39.1	4.3	4.3	34.8	34.8	13.0	8.7	-	8.6	47.8
	男性:専修学校、 各種学校など	10	-	10.0	40.0	40.0	-	10.0	-	10.0	40.0	-	20.0	40.0	30.0	-	10.0	-	20.0	30.0
	男性:大学・短大生	22	4.5	4.5	36.4	36.4	9.1	9.1	-	9.0	45.5	9.1	18.2	36.4	27.3	4.5	4.5	-	27.3	31.8
男性:社会人	19	5.3	10.5	36.8	15.8	21.1	10.5	-	15.8	36.9	-	-	36.8	31.6	15.8	15.8	-	-	47.4	
男性:その他	4	-	-	25.0	25.0	50.0	-	-	-	75.0	-	-	50.0	25.0	-	25.0	-	-	25.0	

2. 男女に関する意見について

問2. あなたは、次の意見についてどう思いますか。(ア)～(カ)の項目ごとに、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○印は1つつ)

- 男性に向くとされてきた職業に女性が進出することに約 8 割が賛成。
- 約 6 割の人が三歳児神話を肯定。

図1-2 男女に関する意見について [全体、性別]



男女の役割分担や男女共同参画に関わる6つの意見についてたずねた。

男女共同参画を肯定する意見である「(イ)今まで男性に向くといわれていた職業でも、女性はどんどん進出したほうがよい」の「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』(79.3%)の割合は約8割で6つの意見の中で最も高くなっている。一方で、「(カ)女性は結婚や出産に関わらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」の『思う』(39.9%)の割合は約4割にとどまり、また「(オ)子どもは3歳ぐらいまでは母親が家庭で育てたほうがよい」の『思う』(62.5%)は約6割となっており、いわゆる“三歳児神話”のような考えが根強く残っていることを示す結果となっている。その他「(ア)女性はいざという時には、仕事よりも家庭を優先したほうがよい」も『思う』(66.0%)が6割を超えている。

「(ウ)家族の重要な決定は、最終的に夫がするほうがよい」と「(エ)実力が同じでも、女性より男性の方が責任のある立場に向いている」は、いずれも「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合わせた『思わない』の割合が6割を超えている。

性別にみると、男女共同参画を推進する意見である「(イ)今まで男性に向くといわれていた職業でも、女性はどんどん進出したほうがよい」(女性84.0%、男性71.8%)と「(カ)女性は結婚や出産に関わらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」(同45.6%、30.7%)の『思う』の割合は、いずれも男性より女性の方が高い。その一方で、固定的な性別役割分担を肯定する意見である「(ア)女性はいざという時には、仕事よりも家庭を優先したほうがよい」(同67.2%、64.1%)と「(オ)子どもは3歳ぐらいまでは母親が家庭で育てたほうがよい」(同65.6%、57.7%)の『思う』の割合も女性の方が高くなっている。

属性別特徴

年齢別にみると、「(ウ)家族の重要な決定は、最終的に夫がするほうがよい」「(エ)実力が同じでも、女性より男性の方が責任のある立場に向いている」「(オ)子どもは3歳ぐらいまでは母親が家庭で育てたほうがよい」「(カ)女性は結婚や出産に関わらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」などは女性の16歳で『思わない』の割合が6割以上と高いが、その後は年齢が上がるにつれ割合が減少し、『思う』の割合が徐々に高くなる傾向にある。

性別役割分担意識別にみると、概念的に類似した質問項目であるだけに、結果でも明確に関連がみられる。「(ア)女性はいざという時には、仕事よりも家庭を優先したほうがよい」や「(ウ)家族の重要な決定は、最終的に夫がするほうがよい」は、性別役割分担に賛成であるほど『思う』の割合が高くなり、「(イ)今まで男性に向くといわれていた職業でも、女性はどんどん進出したほうがよい」や「(カ)女性は結婚や出産に関わらず、ずっと仕事を続けるほうがよい」では性別役割分担意識に賛成であるほど『思わない』の割合が高くなる傾向が顕著である。

調査結果の分析 青少年

表 1 - 2 男女に関する意見について [全体、年齢別、性別役割分担意識別]

(%)

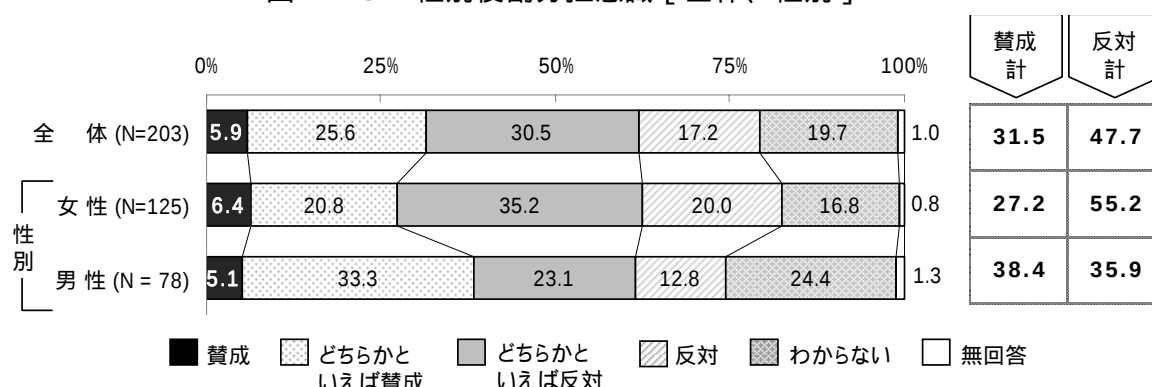
	標本数	(ア) 女性はいざという時には、仕事より家庭を優先したほうがよい							(イ) 今まで男性に向くといわれていた職業でも、女性はどんどん進出したほうがよい							(ウ) 家族の重要な決定は、最終的に夫がするほうがよい						
		そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計	そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計	そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計
全 体	203 100.0	54 26.6	80 39.4	53 26.1	13 6.4	3 1.5	134 66.0	66 32.5	81 39.9	80 39.4	31 15.3	8 3.9	3 1.5	161 79.3	39 19.2	22 10.8	52 25.6	80 39.4	44 21.7	5 2.5	74 36.4	124 61.1
年 齢 別	女性:16歳	3	-	66.7	33.3	-	66.7	33.3	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-	-	-	66.7	33.3	-	-	100.0
	女性:17歳	32	34.4	37.5	28.1	-	71.9	28.1	50.0	37.5	9.4	3.1	-	87.5	12.5	3.1	21.9	53.1	21.9	-	25.0	75.0
	女性:18歳	35	28.6	42.9	22.9	5.7	71.5	28.6	22.9	60.0	17.1	-	-	82.9	17.1	17.1	17.1	45.7	20.0	-	34.2	65.7
	女性:19歳	47	31.9	29.8	23.4	12.8	61.7	36.2	55.3	27.7	14.9	-	2.1	83.0	14.9	4.3	34.0	40.4	19.1	2.1	38.3	59.5
	男性:16歳	3	66.7	33.3	-	-	100.0	-	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3	33.3	-	66.7	-	-	33.3	66.7
	男性:17歳	13	30.8	46.2	23.1	-	77.0	23.1	53.8	30.8	15.4	-	-	84.6	15.4	15.4	15.4	38.5	15.4	15.4	30.8	53.9
	男性:18歳	25	20.0	36.0	32.0	12.0	56.0	44.0	36.0	36.0	20.0	8.0	-	72.0	28.0	8.0	24.0	28.0	40.0	-	32.0	68.0
	男性:19歳	35	11.4	48.6	31.4	5.7	60.0	37.1	37.1	31.4	14.3	14.3	2.9	68.5	28.6	17.1	28.6	28.6	22.9	2.9	45.7	51.5
性 別 役 割 分 担 意 識 別	無回答	10	30.0	40.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0	-	70.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0	20.0	20.0	-	10.0	70.0	20.0
	女性:賛成	8	87.5	12.5	-	-	100.0	-	37.5	25.0	25.0	12.5	-	62.5	37.5	25.0	12.5	62.5	-	-	37.5	62.5
	女性:どちらかと いえば賛成	26	42.3	46.2	7.7	3.8	88.5	11.5	34.6	53.8	11.5	-	-	88.4	11.5	15.4	30.8	50.0	3.8	-	46.2	53.8
	女性:どちらかと いえば反対	44	20.5	36.4	34.1	6.8	56.9	40.9	38.6	45.5	13.6	-	2.3	84.1	13.6	4.5	29.5	40.9	22.7	2.3	34.0	63.6
	女性:反対	25	12.0	32.0	40.0	16.0	44.0	56.0	68.0	24.0	8.0	-	-	92.0	8.0	-	24.0	32.0	44.0	-	24.0	76.0
	女性:わからない	21	42.9	38.1	19.0	-	81.0	19.0	28.6	52.4	19.0	-	-	81.0	19.0	14.3	23.8	52.4	9.5	-	38.1	61.9
	男性:賛成	4	50.0	50.0	-	-	100.0	-	50.0	-	25.0	25.0	-	50.0	50.0	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0
	男性:どちらかと いえば賛成	26	30.8	50.0	7.7	11.5	80.8	19.2	26.9	42.3	23.1	7.7	-	69.2	30.8	19.2	30.8	26.9	15.4	7.7	50.0	42.3
	男性:どちらかと いえば反対	18	11.1	50.0	38.9	-	61.1	38.9	33.3	44.4	16.7	5.6	-	77.7	22.3	11.1	27.8	38.9	22.2	-	38.9	61.1
	男性:反対	10	10.0	20.0	70.0	-	30.0	70.0	70.0	20.0	10.0	-	-	90.0	10.0	-	10.0	20.0	70.0	-	10.0	90.0
	男性:わからない	19	10.5	47.4	31.6	10.5	57.9	42.1	36.8	31.6	15.8	15.8	-	68.4	31.6	15.8	15.8	42.1	26.3	-	31.6	68.4
	無回答	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
	標本数	(エ) 実力が同じでも、女性より男性の方が責任のある立場に向いている							(オ) 子どもは3歳ぐらいまでは母親が家庭で育てたほうがよい							(カ) 女性は結婚や出産に関わらず、ずっと仕事を続けるほうがよい						
		そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計	そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計	そう思う	思ややそう	思あまなりそう	いそう思わな	無回答	思う計	思わな計
全 体	203 100.0	24 11.8	50 24.6	84 41.4	41 20.2	4 2.0	74 36.4	125 61.6	63 31.0	64 31.5	47 23.2	26 12.8	3 1.5	127 62.5	73 36.0	17 8.4	64 31.5	97 47.8	22 10.8	3 1.5	81 39.9	119 58.6
年 齢 別	女性:16歳	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	66.7	-	-	33.3	66.7	33.3	-	66.7	-	-	33.3	66.7
	女性:17歳	32	9.4	28.1	43.8	18.8	-	37.5	34.4	31.3	25.0	9.4	-	65.7	34.4	6.3	34.4	56.3	3.1	-	40.7	59.4
	女性:18歳	35	11.4	25.7	40.0	22.9	-	37.1	34.3	31.4	17.1	17.1	-	65.7	34.2	17.1	28.6	45.7	8.6	-	45.7	54.3
	女性:19歳	47	10.6	27.7	38.3	21.3	2.1	38.3	29.8	38.3	23.4	6.4	2.1	68.1	29.8	6.4	38.3	44.7	8.5	2.1	44.7	53.2
	男性:16歳	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.6	66.7	33.3	-	-	-	100.0	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.6
	男性:17歳	13	30.8	15.4	46.2	-	7.7	46.2	46.2	23.1	30.8	-	-	69.3	30.8	-	38.5	30.8	30.8	-	38.5	61.6
	男性:18歳	25	4.0	16.0	52.0	28.0	-	20.0	20.0	32.0	28.0	20.0	-	52.0	48.0	8.0	24.0	52.0	16.0	-	32.0	68.0
	男性:19歳	35	11.4	31.4	31.4	22.9	2.9	42.8	31.4	25.7	20.0	20.0	2.9	57.1	40.0	2.9	25.7	54.3	14.3	2.9	28.6	68.6
性 別 役 割 分 担 意 識 別	無回答	10	10.0	10.0	60.0	10.0	10.0	20.0	10.0	40.0	20.0	20.0	10.0	50.0	40.0	20.0	40.0	30.0	-	10.0	60.0	30.0
	女性:賛成	8	25.0	50.0	12.5	12.5	-	75.0	62.5	12.5	12.5	12.5	-	75.0	25.0	12.5	12.5	25.0	50.0	-	25.0	75.0
	女性:どちらかと いえば賛成	26	7.7	38.5	46.2	7.7	-	46.2	30.8	50.0	11.5	7.7	-	80.8	19.2	3.8	26.9	65.4	3.8	-	30.7	69.2
	女性:どちらかと いえば反対	44	6.8	20.5	45.5	25.0	2.3	27.3	25.0	31.8	34.1	6.8	2.3	56.8	40.9	4.5	36.4	54.5	2.3	2.3	40.9	56.8
	女性:反対	25	8.0	12.0	44.0	36.0	-	20.0	28.0	24.0	32.0	16.0	-	52.0	48.0	32.0	44.0	16.0	8.0	-	76.0	24.0
	女性:わからない	21	23.8	28.6	38.1	9.5	-	52.4	38.1	42.9	4.8	14.3	-	81.0	19.1	9.5	38.1	52.4	-	-	47.6	52.4
	男性:賛成	4	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	75.0	25.0	-	-	-	100.0	-	-	-	25.0	75.0	-	-	100.0
	男性:どちらかと いえば賛成	26	23.1	30.8	34.6	7.7	3.8	53.9	42.3	30.8	23.1	3.8	-	73.1	26.9	-	34.6	46.2	19.2	-	34.6	65.4
	男性:どちらかと いえば反対	18	11.1	16.7	38.9	33.3	-	27.8	16.7	27.8	38.9	16.7	-	44.5	55.6	11.1	22.2	50.0	16.7	-	33.3	66.7
	男性:反対	10	10.0	10.0	30.0	50.0	-	20.0	50.0	20.0	30.0	30.0	-	50.0	50.0	10.0	10.0	60.0	20.0	-	20.0	80.0
	男性:わからない	19	-	26.3	57.9	15.8	-	26.3	10.5	36.8	21.1	31.6	-	47.3	52.7	-	36.8	57.9	5.3	-	36.8	63.2
	無回答	2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

3. 性別役割分担意識

問3. 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。(○印は1つ)

- 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方に約5割が『反対』。
- 男性は、性別役割分担に『賛成』(38.4%)と『反対』(35.9%)が拮抗。

図1-3 性別役割分担意識 [全体、性別]



「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という固定的な性別役割分担に対する考えをたずねたところ、「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた『賛成』は31.5%、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた『反対』は47.7%となり、約5割がこうした考え方に反対している。

性別にみると、男性は『賛成』が38.4%、『反対』が35.9%と拮抗している。一方、女性は『反対』が55.2%で『賛成』(27.2%)の約2倍となっており、性別役割分担を肯定しない人が多く、男女で異なる結果となっている。

属性別特徴

年齢別にみると、男性では、年齢が高くなるほど『反対』の割合が低くなる傾向がみられる。

就学・就労状況別にみると、男性の「大学・短大生」では、『反対』が18.2%と低く、約4割が「わからない」としている。女性の「社会人」の『反対』は35.3%で、大学生・短大生が5割を超えるのに比べると低いのが目立つ。

表 1 - 3 性別役割分担意識 [全体、年齢別、就学・就労状況別]

(%)

		標 本 数	賛 成	い ど ち え ば ら か 成 と	い ど ち え ば ら 反 か と	反 対	わ か ら な い	無 回 答	賛 成 計	反 対 計
全 体		203 100.0	12 5.9	52 25.6	62 30.5	35 17.2	40 19.7	2 1.0	64 31.5	97 47.7
年 齢 別	女性:16歳	3	-	-	66.7	33.3	-	-	-	100.0
	女性:17歳	32	6.3	25.0	31.3	21.9	15.6	-	31.3	53.2
	女性:18歳	35	8.6	20.0	28.6	22.9	20.0	-	28.6	51.5
	女性:19歳	47	6.4	19.1	42.6	17.0	14.9	-	25.5	59.6
	男性:16歳	3	33.3	33.3	-	-	33.3	-	66.6	-
	男性:17歳	13	7.7	38.5	23.1	23.1	7.7	-	46.2	46.2
	男性:18歳	25	4.0	20.0	16.0	24.0	36.0	-	24.0	40.0
	男性:19歳	35	2.9	40.0	28.6	2.9	22.9	2.9	42.9	31.5
	無回答	10	-	30.0	30.0	10.0	20.0	10.0	30.0	40.0
就 学 ・ 就 労 状 況 別	女性:高校生	47	8.5	17.0	34.0	23.4	17.0	-	25.5	57.4
	女性:専修学校、 各種学校など	18	5.6	11.1	33.3	33.3	16.7	-	16.7	66.6
	女性:大学・短大生	38	2.6	26.3	36.8	15.8	15.8	2.6	28.9	52.6
	女性:社会人	17	11.8	29.4	23.5	11.8	23.5	-	41.2	35.3
	女性:その他	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0	80.0
	男性:高校生	23	8.7	34.8	26.1	21.7	8.7	-	43.5	47.8
	男性:専修学校、 各種学校など	10	-	30.0	20.0	20.0	20.0	10.0	30.0	40.0
	男性:大学・短大生	22	9.1	31.8	9.1	9.1	40.9	-	40.9	18.2
	男性:社会人	19	-	36.8	36.8	5.3	21.1	-	36.8	42.1
	男性:その他	4	-	25.0	25.0	-	50.0	-	25.0	25.0

第2章 日ごろの生活や考えていることについて

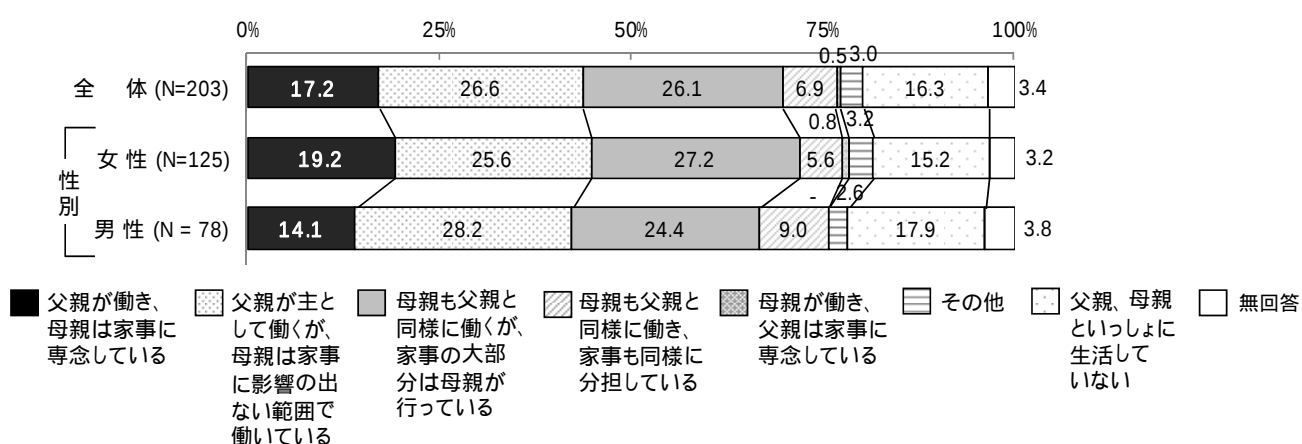
1. 家庭内の状況

(1) 生活状況

問4. あなたの家庭の生活状況は、次のどれに最も近いですか。(○印は1つ)

- 母親は家事に影響のでない範囲で働く、父親と同様に働く場合でも家事の大部分は母親が担っている家庭が多い。

図2-1 生活状況 [全体、性別]



家庭の生活状況についてたずねたところ、「父親が主として働くが、母親は家事に影響のでない範囲で働いている」(26.6%)と「母親も父親と同様に働くが、家事の大部分は母親が行っている」(26.1%)がほぼ同率で約4分の1ずつとなっている。以下、「父親が働き、母親は家事に専念している」(17.2%)、「父親、母親といっしょに生活していない」(16.3%)と続き、「母親も父親と同様に働き、家事も同様に分担している」(6.9%)家庭は1割にも満たない。専業主夫の家庭はほぼ皆無である。

属性別特徴

性別役割分担意識別にみると、男女とも性別役割分担に強く賛成しているほど、「父親が働き、母親は家事に専念している」、すなわち母親が専業主婦である割合が高くなる傾向がみられる。男性で性別役割分担に反対している場合は「母親も父親と同様に働き、家事も同様にを分担している」割合が高い。生育環境が性別役割分担意識に影響していることを示唆する結果となっている。

表 2 - 1 生活状況 [全体、性別役割分担意識別]

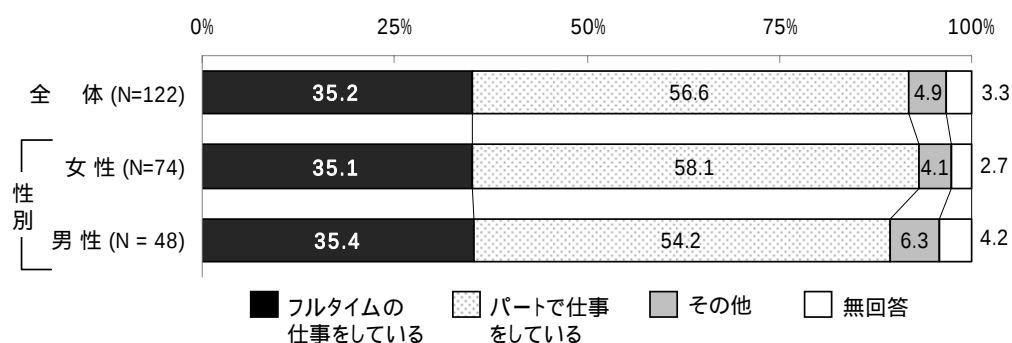
			に父 専親 念が し働 てき い、 母 親 は 家 事	い母 範親 囲は が主 で働 事と しに て影 響働 るの く 出 が な、	が行 親も っ家 て事 いの 親と 大 部 分 様 は 母 働 親 く	てき 母 い、 親も る家 事父 も親 同 様 に 分 に 担 働 し	に母 専親 念が し働 てき い、 父 親 は 家 事	そ 他	生父 活親 し、 母 い親 な い っ し よ に	無 回 答
全 体		203 100.0	35 17.2	54 26.6	53 26.1	14 6.9	1 0.5	6 3.0	33 16.3	7 3.4
性別 役割 分割 担 意 識 別	女性:賛成	8	25.0	12.5	12.5	-	-	25.0	25.0	-
	女性:どちらかといえば賛成	26	19.2	38.5	15.4	7.7	-	3.8	11.5	3.8
	女性:どちらかといえば反対	44	15.9	18.2	38.6	6.8	-	2.3	15.9	2.3
	女性:反対	25	12.0	44.0	20.0	4.0	4.0	-	12.0	4.0
	女性:わからない	21	33.3	9.5	33.3	4.8	-	-	19.0	-
	男性:賛成	4	25.0	50.0	-	-	-	-	25.0	-
	男性:どちらかといえば賛成	26	19.2	30.8	26.9	7.7	-	3.8	7.7	3.8
	男性:どちらかといえば反対	18	16.7	5.6	33.3	11.1	-	5.6	22.2	5.6
	男性:反対	10	10.0	20.0	10.0	20.0	-	-	40.0	-
	男性:わからない	19	5.3	47.4	26.3	5.3	-	-	15.8	-
無回答		2	-	-	-	-	-	-	-	100.0

(2) 母親の就労形態

問 4 - 1 . (問 4 で 2 . ~ 5 . と答えた、お母さんが働いている方に)
では、あなたのお母さんはどのような仕事をしていますか。(○印は 1 つ)

● 母親の就労形態は、パートタイムが半数以上を占める。

図 2 - 2 母親の就労形態 [全体、性別]



母親が就労している場合の形態は、「パートで仕事をしている」が 56.6% と半数を超えており、「フルタイムの仕事をしている」は 35.2% となっている。

2. 家事の状況

問5. あなたは次にあげる家事を日ごろどのくらい行っていますか。(ア)～(カ)の項目ごとにあてはまるものを選んでください。(○印は1つずつ)

- 家事のうち「食事の後片付け」や「そうじ」は6割以上がおこなっている。
- 性別役割分担に反対している男性ほど、積極的に「食事の後片付け」を分担している。

図2-2(1) 家事の状況 [全体、性別]

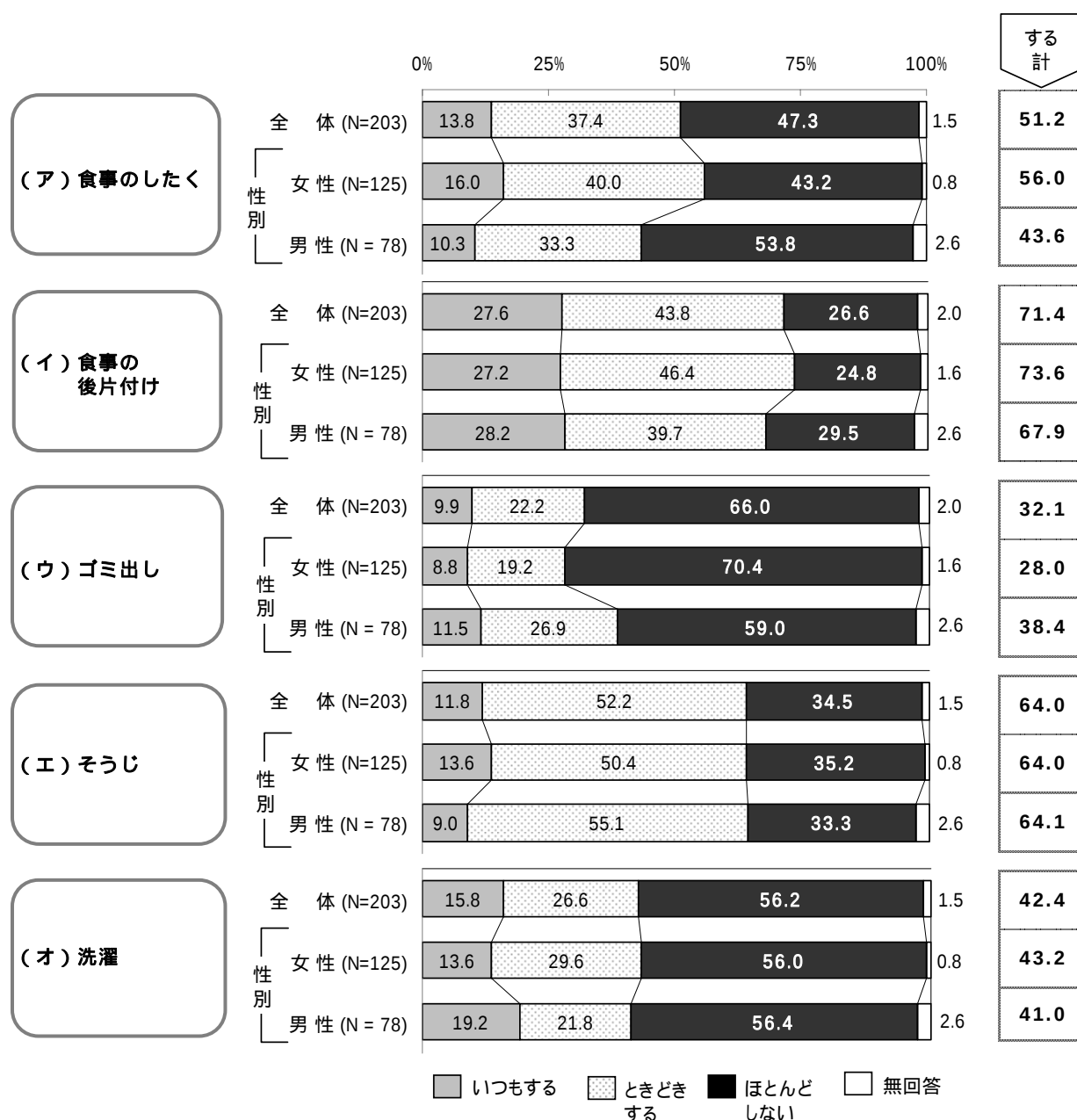
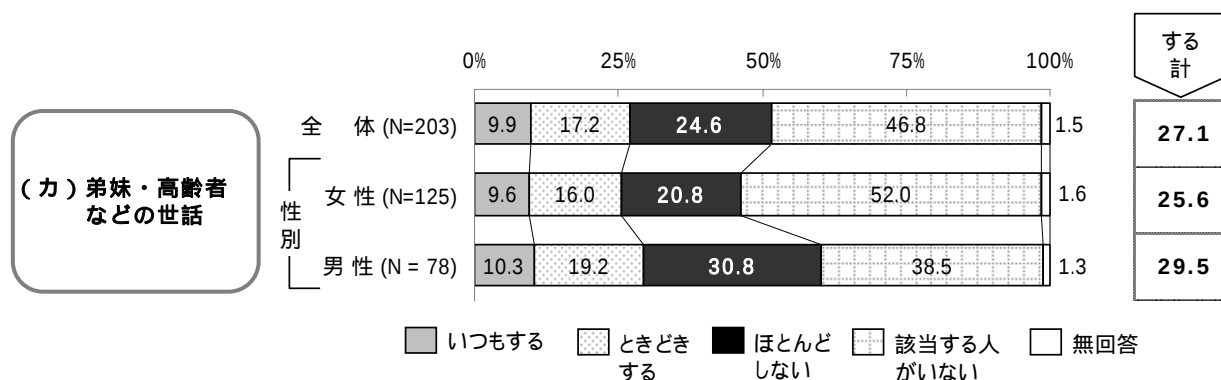


図 2 - 2 (2) 家事の状況 [全体、性別]



回答者自身が家事をどの程度分担しているかをたずねたところ、「いつもする」と「ときどきする」を合わせた『する』が最も高いのは「(イ) 食事の後片付け」で 71.4%となっている。次いで「(エ) そうじ」が 64.0%、「(ア) 食事のしたく」が 51.2%となっている。「(ウ) ゴミ出し」と「(オ) 洗濯」は「ほとんどしない」が 5 割を超えている。「(カ) 弟妹・高齢者などの世話」は、『する』が 27.1%となっている。

性別にみると、男女の差が大きいのは「(ア) 食事のしたく」で、女性の『する』割合は 56.0%、男性は 43.6%と女性の方が 12.4 ポイント高い。反対に「(ウ) ゴミ出し」は、男性が 38.4%と女性 (28.0%) よりも 10.4 ポイント高くなっている。

属性別特徴

性別役割分担意識別にみると、男性では、性別役割分担に反対するほど「(イ) 食事の後片付け」を『する』割合が高くなる傾向が顕著である。その他の家事では、性別役割分担意識との関連性は低い。

就学・就労状況別にみると、高校生の男女ではそれぞれの家事を『する』割合に大きな差はみられないが、「(ウ) ゴミ出し」「(カ) 弟妹・高齢者などの世話」に関しては男性の方が高くなっている。

表2-2 家事の状況〔全体、性別役割分担意識別、就学・就労状況別〕

(%)

		標 本 数	(ア) 食事のしたく					(イ) 食事の後片付け					(ウ) ゴミ出し					
			い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	無 回 答	す る 計	い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	無 回 答	す る 計	い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	無 回 答	す る 計	
全 体		203 100.0	28 13.8	76 37.4	96 47.3	3 1.5	104 51.2	56 27.6	89 43.8	54 26.6	4 2.0	145 71.4	20 9.9	45 22.2	134 66.0	4 2.0	65 32.1	
性別 役割 分割 分担 意識 別	女性・賛成	8	-	50.0	50.0	-	50.0	25.0	37.5	37.5	-	62.5	-	25.0	75.0	-	25.0	
	女性・どちらかといえば賛成	26	15.4	42.3	42.3	-	57.7	34.6	46.2	19.2	-	80.8	11.5	23.1	65.4	-	34.6	
	女性・どちらかといえば反対	44	20.5	47.7	31.8	-	68.2	27.3	54.5	18.2	-	81.8	9.1	22.7	68.2	-	31.8	
	女性・反対	25	20.0	32.0	48.0	-	52.0	32.0	36.0	28.0	4.0	68.0	8.0	16.0	72.0	4.0	24.0	
	女性・わからない	21	9.5	28.6	61.9	-	38.1	14.3	47.6	38.1	-	61.9	9.5	9.5	81.0	-	19.0	
	男性・賛成	4	25.0	25.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	50.0	-	50.0	25.0	25.0	50.0	-	50.0	
	男性・どちらかといえば賛成	26	15.4	23.1	61.5	-	38.5	38.5	26.9	34.6	-	65.4	19.2	15.4	65.4	-	34.6	
	男性・どちらかといえば反対	18	11.1	38.9	50.0	-	50.0	16.7	61.1	22.2	-	77.8	5.6	33.3	61.1	-	38.9	
	男性・反対	10	10.0	40.0	50.0	-	50.0	40.0	50.0	10.0	-	90.0	10.0	40.0	50.0	-	50.0	
	男性・わからない	19	-	42.1	52.6	5.3	42.1	21.1	36.8	36.8	5.3	57.9	5.3	31.6	57.9	5.3	36.9	
無回答		2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	
就学・ 就労 状況 別	女性・高校生	47	10.6	44.7	44.7	-	55.3	27.7	51.1	21.3	-	78.8	-	14.9	85.1	-	14.9	
	女性・専修学校、 各種学校など	18	-	44.4	55.6	-	44.4	11.1	55.6	33.3	-	66.7	5.6	22.2	72.2	-	27.8	
	女性・大学・短大生	38	34.2	31.6	31.6	2.6	65.8	36.8	34.2	23.7	5.3	71.0	21.1	21.1	52.6	5.3	42.2	
	女性・社会人	17	-	41.2	58.8	-	41.2	17.6	47.1	35.3	-	64.7	11.8	23.5	64.7	-	35.3	
	女性・その他	5	40.0	40.0	20.0	-	80.0	40.0	60.0	-	-	100.0	-	20.0	80.0	-	20.0	
	男性・高校生	23	8.7	43.5	47.8	-	52.2	39.1	39.1	21.7	-	78.2	4.3	39.1	56.5	-	43.4	
	男性・専修学校、 各種学校など	10	10.0	10.0	70.0	10.0	20.0	30.0	20.0	40.0	10.0	50.0	10.0	30.0	50.0	10.0	40.0	
	男性・大学・短大生	22	18.2	40.9	36.4	4.5	59.1	40.9	36.4	18.2	4.5	77.3	18.2	18.2	59.1	4.5	36.4	
	男性・社会人	19	5.3	26.3	68.4	-	31.6	5.3	52.6	42.1	-	57.9	15.8	21.1	63.2	-	36.9	
	男性・その他	4	-	25.0	75.0	-	25.0	-	50.0	50.0	-	50.0	-	25.0	75.0	-	25.0	
		標 本 数	(エ) そうじ					(オ) 洗濯					(カ) 弟妹・高齢者などの世話					
			い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	無 回 答	す る 計	い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	無 回 答	す る 計	い つ も す る	す と き ど き	し ほ な い ん ど	が 該 当 な す い る 人	無 回 答	す る 計
全 体		203 100.0	24 11.8	106 52.2	70 34.5	3 1.5	130 64.0	32 15.8	54 26.6	114 56.2	3 1.5	86 42.4	20 9.9	35 17.2	50 24.6	95 46.8	3 1.5	55 27.1
性別 役割 分割 分担 意識 別	女性・賛成	8	-	75.0	25.0	-	75.0	-	25.0	75.0	-	25.0	25.0	25.0	12.5	37.5	-	50.0
	女性・どちらかといえば賛成	26	15.4	57.7	26.9	-	73.1	11.5	26.9	61.5	-	38.4	11.5	11.5	19.2	57.7	-	23.0
	女性・どちらかといえば反対	44	18.2	50.0	31.8	-	68.2	18.2	47.7	34.1	-	65.9	15.9	25.0	11.4	47.7	-	40.9
	女性・反対	25	8.0	48.0	44.0	-	56.0	16.0	16.0	68.0	-	32.0	-	12.0	28.0	56.0	4.0	12.0
	女性・わからない	21	14.3	38.1	47.6	-	52.4	9.5	14.3	76.2	-	23.8	-	4.8	38.1	57.1	-	4.8
	男性・賛成	4	-	75.0	25.0	-	75.0	50.0	-	50.0	-	50.0	25.0	-	25.0	50.0	-	25.0
	男性・どちらかといえば賛成	26	11.5	50.0	38.5	-	61.5	26.9	23.1	50.0	-	50.0	7.7	19.2	38.5	34.6	-	26.9
	男性・どちらかといえば反対	18	-	61.1	38.9	-	61.1	11.1	16.7	72.2	-	27.8	11.1	33.3	27.8	27.8	-	44.4
	男性・反対	10	20.0	50.0	30.0	-	70.0	20.0	40.0	40.0	-	60.0	20.0	20.0	10.0	50.0	-	40.0
	男性・わからない	19	10.5	57.9	26.3	5.3	68.4	10.5	21.1	63.2	5.3	31.6	5.3	10.5	36.8	47.4	-	15.8
無回答		2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
就学・ 就労 状況 別	女性・高校生	47	2.1	66.0	31.9	-	68.1	6.4	23.4	70.2	-	29.8	12.8	17.0	21.3	48.9	-	29.8
	女性・専修学校、 各種学校など	18	11.1	27.8	61.1	-	38.9	11.1	38.9	50.0	-	50.0	-	16.7	16.7	66.7	-	16.7
	女性・大学・短大生	38	28.9	44.7	23.7	2.6	73.6	28.9	23.7	44.7	2.6	52.6	10.5	13.2	23.7	47.4	5.3	23.7
	女性・社会人	17	5.9	41.2	52.9	-	47.1	5.9	41.2	52.9	-	47.1	5.9	17.6	17.6	58.8	-	23.5
	女性・その他	5	40.0	60.0	-	-	100.0	-	60.0	40.0	-	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	-	40.0
	男性・高校生	23	8.7	56.5	34.8	-	65.2	17.4	8.7	73.9	-	26.1	21.7	21.7	30.4	26.1	-	43.4
	男性・専修学校、 各種学校など	10	10.0	40.0	40.0	10.0	50.0	20.0	20.0	50.0	10.0	40.0	-	20.0	30.0	40.0	10.0	20.0
	男性・大学・短大生	22	13.6	59.1	22.7	4.5	72.7	27.3	22.7	45.5	4.5	50.0	9.1	9.1	27.3	54.5	-	18.2
	男性・社会人	19	5.3	63.2	31.6	-	68.5	15.8	42.1	42.1	-	57.9	5.3	26.3	26.3	42.1	-	31.6
	男性・その他	4	-	25.0	75.0	-	25.0	-	-	100.0	-	-	-	-	25.0	75.0	-	25.0

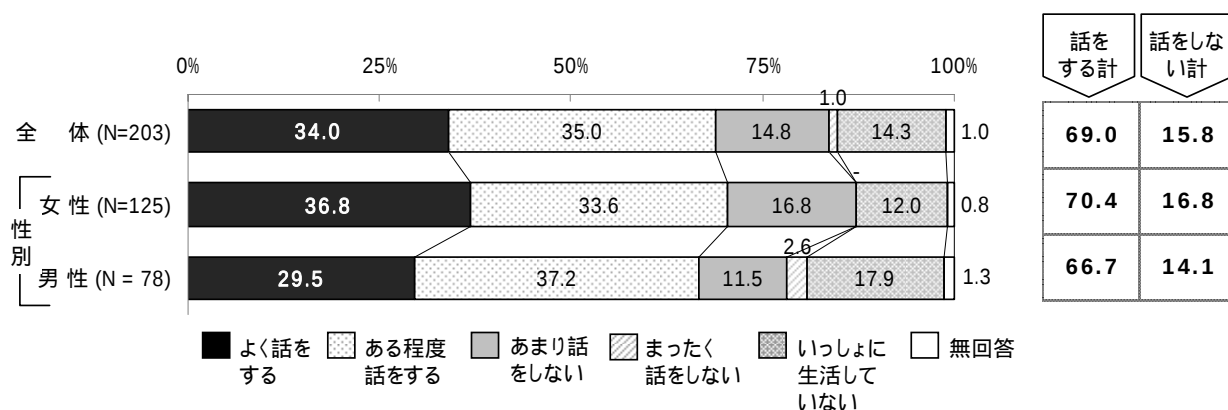
3. 父親との会話の状況

(1) 父親との会話の程度

問6. あなたはお父さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。
(○印は1つ)

●約7割が父親と日常的に会話をしている。

図2-3 父親との会話の程度 [全体、性別]



父親との会話の状況は、「よく話をする」(34.0%)と「ある程度話をする」(35.0%)で約7割を占めている。「あまり話をしない」(14.8%)と「まったく話をしない」(1.0%)は、合わせて15.8%である。

性別にみると、女性は「よく話をする」が36.8%で最も多く、男性は「ある程度話をする」が37.2%で最も多い。

属性別特徴

年齢別にみると、男女とも年齢が上がるほど父親との会話を『する』人が多くなるが、特に男性でその傾向は顕著である。

表2-3 父親との会話の程度 [全体、年齢別]

		標本数	よく話をする	ある程度話をする	あまり話をしない	まったく話をしない	いっしょに生活していない	無回答	する計	しない計
全 体		203	69	71	30	2	29	2	140	32
		100.0	34.0	35.0	14.8	1.0	14.3	1.0	69.0	15.8
年 齢 別	女性:16歳	3	66.7	-	-	-	33.3	-	66.7	-
	女性:17歳	32	34.4	34.4	21.9	-	9.4	-	68.8	21.9
	女性:18歳	35	31.4	34.3	14.3	-	20.0	-	65.7	14.3
	女性:19歳	47	40.4	34.0	17.0	-	8.5	-	74.4	17.0
	男性:16歳	3	-	33.3	66.7	-	-	-	33.3	66.7
	男性:17歳	13	30.8	23.1	23.1	-	23.1	-	53.9	23.1
	男性:18歳	25	16.0	52.0	12.0	4.0	16.0	-	68.0	16.0
	男性:19歳	35	37.1	34.3	2.9	2.9	20.0	2.9	71.4	5.8
	無回答	10	50.0	30.0	10.0	-	-	10.0	80.0	10.0

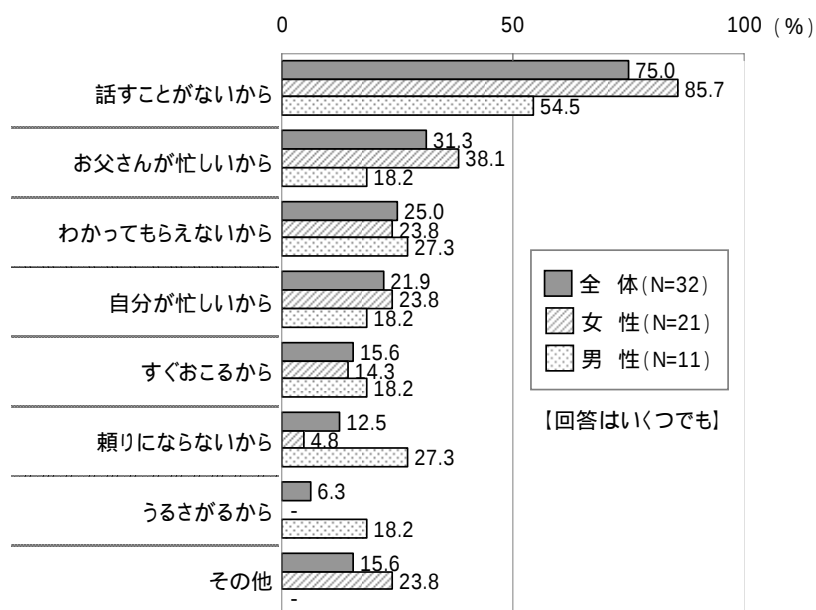
(2) 父親と話をしない理由

問6 - 1 . (問6で 3 . または4 . と答えた方に)

では、お父さんと話をしないのはどうしてですか。(○印はいくつでも)

- 父親と話をしない理由は「話すことがないから」で、特に女性が高い。

図2 - 4 父親と話をしない理由 [全体、性別]



父親と「あまり話をしない」「まったく話をしない」と答えた人にその理由をたずねたところ、「話すことがないから」が 75.0%で圧倒的に高く、次いで「お父さんが忙しいから」の 31.3%となっている。

性別にみると、女性は「話すことがないから」が 85.7%と特に高い。

4．母親との会話の状況

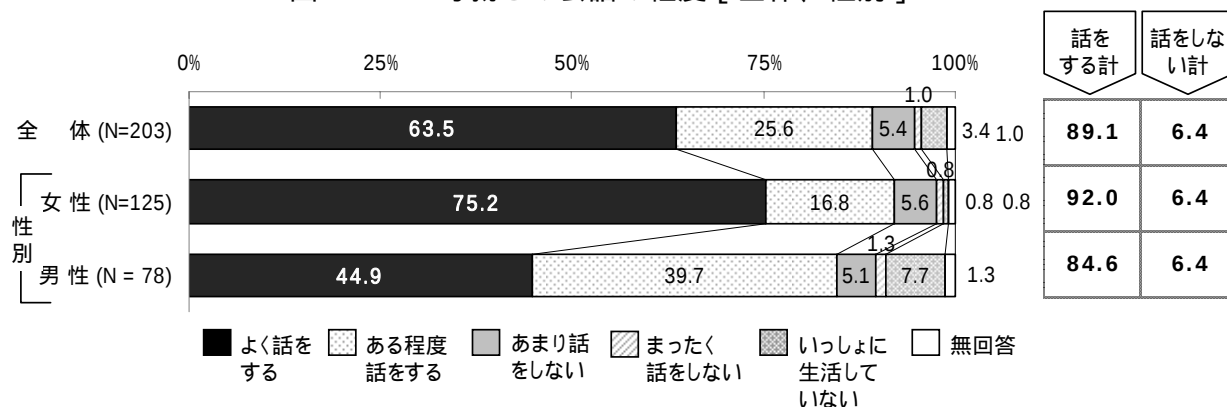
(1) 母親との会話の程度

問7．あなたはお母さんと話をする方ですか、それともあまり話さない方ですか。

(○印は1つ)

- 約 9 割が母親と日常的に会話をしている。
- 母親とよく話をするのは圧倒的に女性に多い。

図2 - 5 母親との会話の程度 [全体、性別]



母親との会話の状況は、「よく話をする」(63.5%)が最も多く、次いで「ある程度話をする」(25.6%)となっており、9割近くの人が母親と日常的に会話をしている。「あまり話さない」(5.4%)と「まったく話さない」(1.0%)は、合わせて6.4%と低く、父親よりも母親と話す程度が高い。

性別にみると、「よく話をする」の割合は、女性が75.2%、男性が44.9%となっており、母親と高頻度で話す人の割合は女性の方が大幅に高い。

属性別特徴

年齢別にみると、男性では年齢が上がると母親と話を『する』割合が8割台と低くなる。

表2 - 4 母親との会話の程度 [全体、年齢別]

		標本	よく話をする	ある程度話をする	あまり話さない	まったく話さない	いっしょに生活していない	無回答	する計	しない計
全 体		203 100.0	129 63.5	52 25.6	11 5.4	2 1.0	7 3.4	2 1.0	181 89.1	13 6.4
年 齢 別	女性:16歳	3	66.7	-	33.3	-	-	-	66.7	33.3
	女性:17歳	32	71.9	25.0	3.1	-	-	-	96.9	3.1
	女性:18歳	35	80.0	11.4	2.9	2.9	2.9	-	91.4	5.8
	女性:19歳	47	78.7	14.9	6.4	-	-	-	93.6	6.4
	男性:16歳	3	100.0	-	-	-	-	-	100.0	-
	男性:17歳	13	30.8	61.5	7.7	-	-	-	92.3	7.7
	男性:18歳	25	40.0	40.0	8.0	4.0	8.0	-	80.0	12.0
	男性:19歳	35	45.7	37.1	2.9	-	11.4	2.9	82.8	2.9
無回答		10	60.0	20.0	10.0	-	-	10.0	80.0	10.0

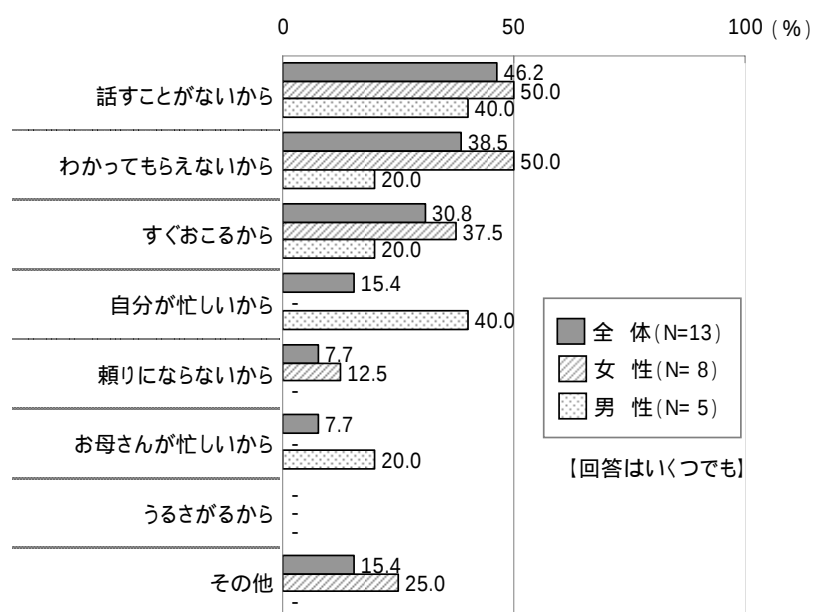
(2) 母親と話をしない理由

問7-1.(問7で3.または4.と答えた方に)

では、お母さんと話をしないのはどうしてですか。(○印はいくつでも)

- 母親と話をしない理由は「話すことがないから」「わかってもらえないから」が上位。

図2-6 母親と話をしない理由[全体、性別]



母親と話をしない理由は、「話すことがないから」(46.2%)と「わかってもらえないから」(38.5%)が多い。

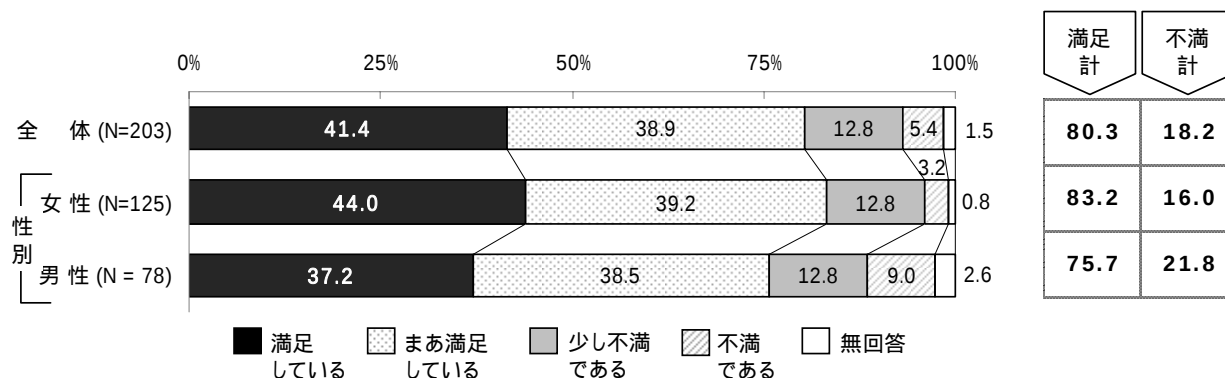
性別にみると、女性は「話すことがないから」「わかってもらえないから」(同率 50.0%)、男性は「話すことがないから」「自分が忙しいから」(同率 40.0%)が主な理由となっている。

5. 家庭生活の満足度

問8. あなたは、今の自分の家庭での生活にどのくらい満足していますか。(○印は1つ)

- 約8割の人が今の家庭での生活に満足。
- 女性の方が男性よりも、家庭生活に満足している人が多い。

図2-7 家庭生活の満足度 [全体、性別]



現在の家庭での生活にどの程度満足しているかをたずねたところ、「満足している」(41.4%)と「まあ満足している」(38.9%)がそれぞれ約4割で、これらを合わせた『満足』は80.3%となっている。「少し不満である」(12.8%)と「不満である」(5.4%)を合わせた『不満』は18.2%となっている。

性別にみると、女性の『満足』は83.2%と男性(75.7%)よりも7.5ポイント高い。

属性別特徴

就学・就労状況別にみると、男性の「高校生」の『不満』が30.4%と高いのに対し、女性は14.9%と男女差がみられる。「社会人」では男女とも『不満』が2割台と高い。

父親や母親との会話の程度別にみると、男女とも父親や母親と話をする頻度が高い人は、現在の家庭生活に満足している人が多く、話をしない人は不満の割合が高い傾向がみられる。

表2 - 5 家庭生活の満足度〔全体、就学・就労状況別、父親との会話の程度別、母親との会話の程度別〕

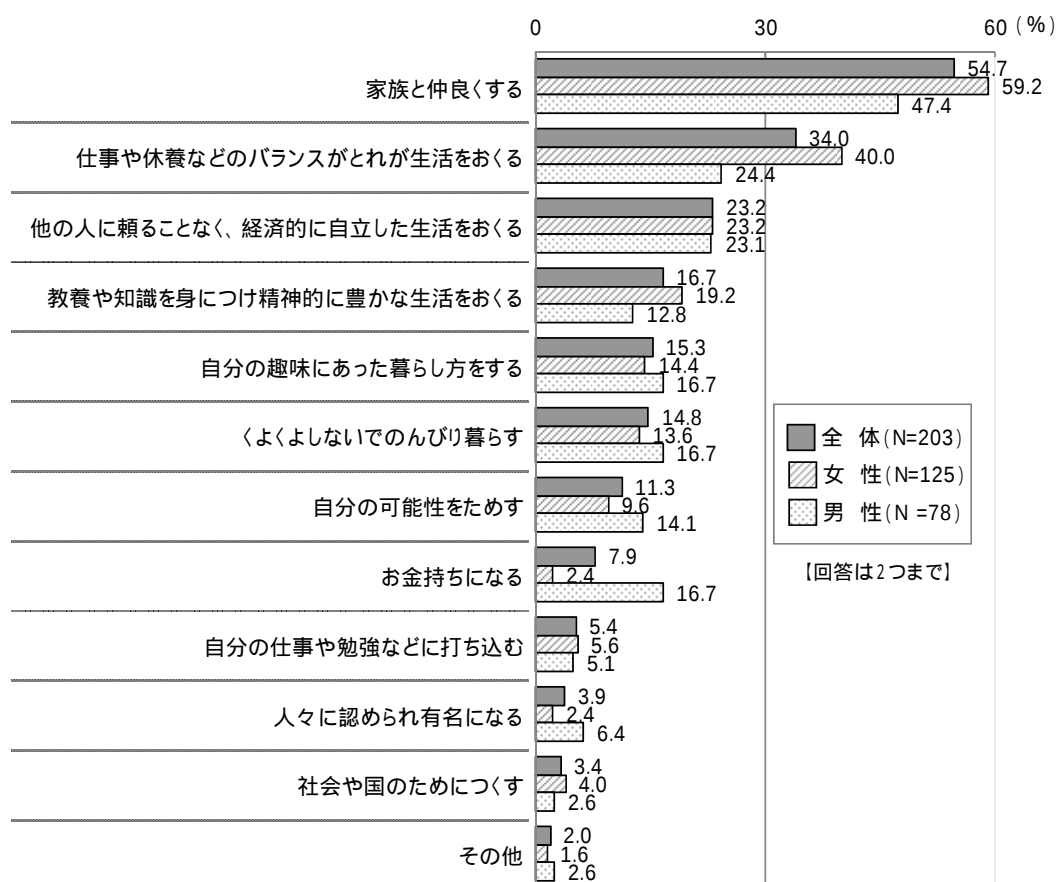
		標 本 数	る 満 足 し て い	て ま い あ る 満 足 し	あ 少 る し 不 満 で	不 満 で あ る	無 回 答	満 足 計	不 満 計
			(%)						
全 体		203 100.0	84 41.4	79 38.9	26 12.8	11 5.4	3 1.5	163 80.3	37 18.2
就 学 ・ 就 労 状 況 別	女性:高校生	47	44.7	40.4	10.6	4.3	-	85.1	14.9
	女性:専修学校、 各種学校など	18	44.4	44.4	5.6	-	5.6	88.8	5.6
	女性:大学・短大生	38	47.4	36.8	13.2	2.6	-	84.2	15.8
	女性:社会人	17	35.3	35.3	23.5	5.9	-	70.6	29.4
	女性:その他	5	40.0	40.0	20.0	-	-	80.0	20.0
	男性:高校生	23	34.8	30.4	17.4	13.0	4.3	65.2	30.4
	男性:専修学校、 各種学校など	10	50.0	40.0	-	-	10.0	90.0	-
	男性:大学・短大生	22	40.9	45.5	9.1	4.5	-	86.4	13.6
	男性:社会人	19	31.6	42.1	15.8	10.5	-	73.7	26.3
	男性:その他	4	25.0	25.0	25.0	25.0	-	50.0	50.0
父 親 と の 会 話 の 程 度 別	女性:よく話をする	46	58.7	28.3	8.7	2.2	2.2	87.0	10.9
	女性:ある程度話をする	42	45.2	47.6	7.1	-	-	92.9	7.1
	女性:あまり話をしない	21	23.8	33.3	38.1	4.8	-	57.1	42.9
	女性:まったく話をしない	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性:いっしょに生活していない	15	20.0	60.0	6.7	13.3	-	80.0	20.0
	男性:よく話をする	23	69.6	26.1	-	4.3	-	95.7	4.3
	男性:ある程度話をする	29	31.0	51.7	6.9	6.9	3.4	82.7	13.8
	男性:あまり話をしない	9	11.1	22.2	55.6	11.1	-	33.3	66.7
	男性:まったく話をしない	2	-	50.0	-	50.0	-	50.0	50.0
	男性:いっしょに生活していない	14	21.4	35.7	21.4	14.3	7.1	57.1	35.7
母 親 と の 会 話 の 程 度 別	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
	女性:よく話をする	94	52.1	36.2	9.6	1.1	1.1	88.3	10.7
	女性:ある程度話をする	21	19.0	57.1	19.0	4.8	-	76.1	23.8
	女性:あまり話をしない	7	-	28.6	42.9	28.6	-	28.6	71.5
	女性:まったく話をしない	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
	女性:いっしょに生活していない	1	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	男性:よく話をする	35	51.4	22.9	14.3	5.7	5.7	74.3	20.0
	男性:ある程度話をする	31	25.8	54.8	9.7	9.7	-	80.6	19.4
	男性:あまり話をしない	4	-	25.0	50.0	25.0	-	25.0	75.0
	男性:まったく話をしない	1	-	-	-	100.0	-	-	100.0
	男性:いっしょに生活していない	6	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-
	無回答	2	50.0	50.0	-	-	-	100.0	-

6. 希望する暮らしや生き方

問9. 人の暮らしや生き方について、いろいろな考え方がありますが、あなたは将来どういう暮らしや生き方をしたいと思いますか。(○印は2つまで)

- 「家族と仲良くする」暮らし方を希望する人は5割を超え最も多い。
- 経済的に自立し、仕事と休養などのバランスがとれた生活を理想としている人が多い。

図2-8 希望する暮らしや生き方〔全体、性別〕



将来の暮らしや生き方について、自分の考えに当てはまるものを選んでもらったところ、最も多いのは「家族と仲良くする」(54.7%)で半数を超えている。次いで、「仕事や休養などのバランスがとれた生活をおくる」(34.0%)、「他の人に頼ることなく、経済的に自立した生活をおくる」(23.2%)となっている。一方、「お金持ちになる」(7.9%)や「人々に認められ有名になる」(3.9%)といった上昇志向を持つ人は少ない。

性別にみると、女性は男性に比べて「家族と仲良くする」(女性59.2%、男性47.4%)や「仕事や休養などのバランスがとれた生活をおくる」(同40.0%、24.4%)などが10ポイント以上高い。一方、男性は「お金持ちになる」が16.7%であるが、女性は2.4%に過ぎず、男女差が大きい。

7. 自分自身にあてはまること

問 10 . 次の(ア)～(キ)の項目について、あなた自身にどの程度当てはまると思いますか。
(他人からどう見られているかではなく、あなたがあなた自身をどのように思っているかを、ありのままにお答えください。)(○印はそれぞれ1つつつ)

- 約 7 割の人が、自分は人並みだと思っており、自身の長所を見出せない人が 5 割程度存在する。
- 自分のことを否定的に捉える人は、男性よりも女性に多い。

図 2 - 9 (1) 自分自身にあてはまること [全体、性別]

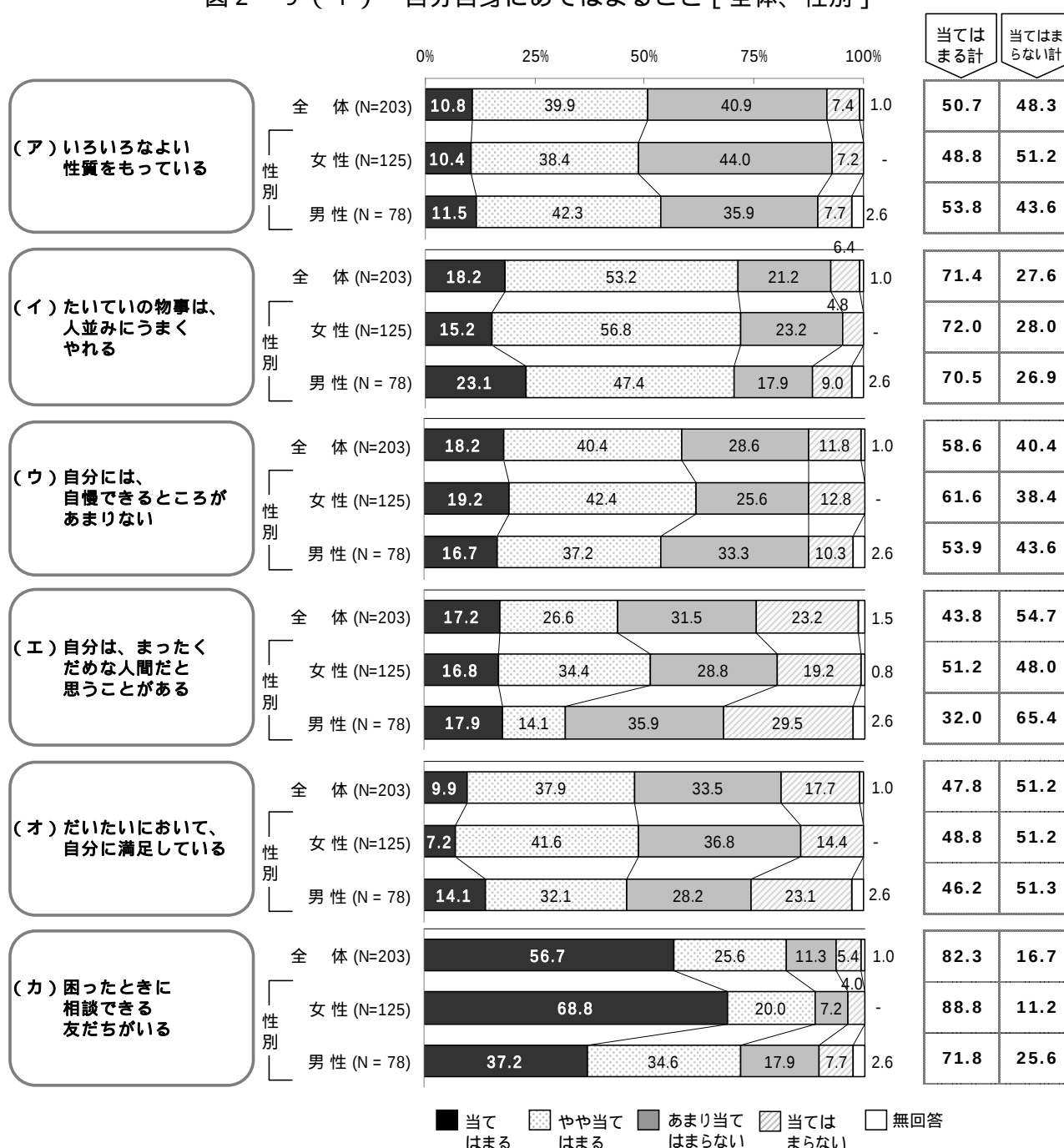
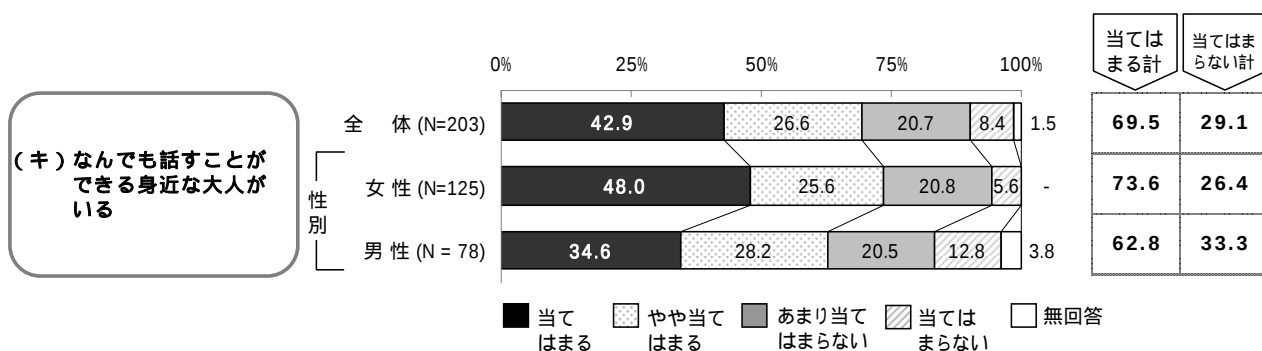


図2 - 9 (2) 自分自身にあてはまること [全体、性別]



自分自身をどう捉えているかについての項目に当てはまるか否かをたずねた。「当てはまる」と「やや当てはまる」を合わせた割合が相対的に高いのは、「(カ) 困ったときに相談できる友だちがいる」(82.3%)と「(キ) なんでも話することができる身近な大人がいる」(69.5%)という人間関係に関する項目となっている。「(イ) たいていの物事は、人並みにうまくやれる」(71.4%)も比較的高く、約7割の人が人並みの能力はあると捉えている。一方で、「(ア) いろいろなよい性質をもっている」(50.7%)や「(オ) だいたいにおいて、自分に満足している」(47.8%)は5割前後に留まり、「(ウ) 自分には、自慢できるところがあまりない」(58.6%)や「(エ) 自分は、まったくだめな人間だと思うことがある」(43.8%)という自身についての否定的な捉え方も5割前後と低くはない。

性別にみると、『当てはまる』の男女差が特に大きいのは、「(エ) 自分は、まったくだめな人間だと思うことがある」で、女性では51.2%であるのに対し、男性は32.0%と19.2ポイントも女性の方が高い。同じく否定的な捉え方である「(ウ) 自分には、自慢できるところがあまりない」(女性61.6%、男性53.9%)も、女性の方が7.7ポイント高くなっている。人間関係に関する項目である「(カ) 困ったときに相談できる友だちがいる」(同88.8%、71.8%)と「(キ) なんでも話することができる身近な大人がいる」(同73.6%、62.8%)は、いずれも男性の方が10ポイント以上低くなっている。

属性別特徴

家庭生活の満足度別にみると、男女とも満足度が高い人は「(ア) いろいろなよい性質をもっている」「(イ) たいていの物事は、人並みにうまくやれる」「(オ) だいたいにおいて、自分に満足している」「(カ) 困ったときに相談できる友だちがいる」「(キ) なんでも話することができる身近な大人がいる」などで『当てはまる』の割合が高く、自分自身を好意的に捉えたり、話せる人が身近にいたりする状況にあるようである。反対に、満足度が低い人は「(ウ) 自分には、自慢できるところがあまりない」や「(エ) 自分は、まったくだめな人間だと思うことがある」などで『当てはまる』の割合が高く、自分自身を否定的に捉える傾向がみられる。

表2 - 6 自分自身にあてはまること〔全体、家庭生活の満足度別〕

(%)

		標 本 数	(ア)いろいろなよい性質をもっている							(イ)たいいていの物事は、人並みにうまくやれる							
			る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	あ ま り い は ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま
全 体		203 100.0	22 10.8	81 39.9	83 40.9	15 7.4	2 1.0	103 50.7	98 48.3	37 18.2	108 53.2	43 21.2	13 6.4	2 1.0	145 71.4	56 27.6	
家庭生活の満足度別	女性：満足している	55	16.4	34.5	47.3	1.8	-	50.9	49.1	14.5	60.0	25.5	-	-	74.5	25.5	
	女性：まあ満足している	49	6.1	46.9	36.7	10.2	-	53.0	46.9	18.4	59.2	18.4	4.1	-	77.6	22.5	
	女性：少し不満である	16	6.3	18.8	56.3	18.8	-	25.1	75.1	6.3	50.0	25.0	18.8	-	56.3	43.8	
	女性：不満である	4	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	50.0	50.0	
	男性：満足している	29	20.7	41.4	34.5	3.4	-	62.1	37.9	44.8	34.5	17.2	3.4	-	79.3	20.6	
	男性：まあ満足している	30	3.3	50.0	43.3	-	3.3	53.3	43.3	10.0	70.0	16.7	-	3.3	80.0	16.7	
	男性：少し不満である	10	-	40.0	30.0	30.0	-	40.0	60.0	-	40.0	30.0	30.0	-	40.0	60.0	
	男性：不満である	7	14.3	28.6	28.6	28.6	-	42.9	57.2	14.3	28.6	14.3	42.9	-	42.9	57.1	
無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3		
			(ウ)自分には、自慢できるところがありません							(エ)自分は、まったくだめな人間だと思うことがある							
		標 本 数	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	あ ま り い は ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま
全 体		203 100.0	37 18.2	82 40.4	58 28.6	24 11.8	2 1.0	119 58.6	82 40.4	35 17.2	54 26.6	64 31.5	47 23.2	3 1.5	89 43.8	111 54.7	
家庭生活の満足度別	女性：満足している	55	16.4	32.7	30.9	20.0	-	49.1	50.9	12.7	32.7	32.7	20.0	1.8	45.4	52.7	
	女性：まあ満足している	49	14.3	51.0	26.5	8.2	-	65.3	34.7	18.4	30.6	26.5	24.5	-	49.0	51.0	
	女性：少し不満である	16	37.5	50.0	6.3	6.3	-	87.5	12.6	25.0	50.0	18.8	6.3	-	75.0	25.1	
	女性：不満である	4	50.0	25.0	25.0	-	-	75.0	25.0	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0	
	男性：満足している	29	10.3	34.5	37.9	17.2	-	44.8	55.1	13.8	10.3	37.9	37.9	-	24.1	75.8	
	男性：まあ満足している	30	6.7	50.0	33.3	6.7	3.3	56.7	40.0	6.7	20.0	43.3	26.7	3.3	26.7	70.0	
	男性：少し不満である	10	40.0	20.0	40.0	-	-	60.0	40.0	40.0	10.0	30.0	20.0	-	50.0	50.0	
	男性：不満である	7	57.1	28.6	14.3	-	-	85.7	14.3	57.1	14.3	14.3	14.3	-	71.4	28.6	
無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	66.6		
			(オ)だいたいにおいて、自分に満足している							(カ)困ったときに相談できる友だちがいる							
		標 本 数	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	あ ま り い は ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま
全 体		203 100.0	20 9.9	77 37.9	68 33.5	36 17.7	2 1.0	97 47.8	104 51.2	115 56.7	52 25.6	23 11.3	11 5.4	2 1.0	167 82.3	34 16.7	
家庭生活の満足度別	女性：満足している	55	7.3	47.3	32.7	12.7	-	54.6	45.4	72.7	14.5	3.6	9.1	-	87.4	12.7	
	女性：まあ満足している	49	8.2	44.9	38.8	8.2	-	53.1	47.0	73.5	18.4	8.2	-	-	91.9	8.2	
	女性：少し不満である	16	6.3	18.8	43.8	31.3	-	25.1	75.1	50.0	37.5	12.5	-	-	87.5	12.5	
	女性：不満である	4	-	-	50.0	50.0	-	-	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-	75.0	25.0	
	男性：満足している	29	31.0	24.1	31.0	13.8	-	55.1	44.8	44.8	31.0	13.8	10.3	-	75.8	24.1	
	男性：まあ満足している	30	6.7	46.7	30.0	13.3	3.3	53.4	43.3	36.7	46.7	13.3	-	3.3	83.4	13.3	
	男性：少し不満である	10	-	20.0	30.0	50.0	-	20.0	80.0	30.0	20.0	50.0	-	-	50.0	50.0	
	男性：不満である	7	-	28.6	14.3	57.1	-	28.6	71.4	28.6	28.6	14.3	28.6	-	57.2	42.9	
無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3		
			(キ)なんでも話することができる身近な大人がいる														
		標 本 数	る 当 て は ま	は や ま る や 当 て	ら 当 な て い は り ま	あ ま り い は ま	ら 当 な て い は ま	無 回 答	る 当 計 て は ま	ら 当 な て い は 計 ま							
全 体		203 100.0	87 42.9	54 26.6	42 20.7	17 8.4	3 1.5	141 69.5	59 29.1								
家庭生活の満足度別	女性：満足している	55	67.3	20.0	12.7	-	-	87.3	12.7								
	女性：まあ満足している	49	36.7	34.7	26.5	2.0	-	71.4	28.5								
	女性：少し不満である	16	31.3	12.5	31.3	25.0	-	43.8	56.3								
	女性：不満である	4	-	25.0	25.0	50.0	-	25.0	75.0								
	男性：満足している	29	51.7	24.1	10.3	13.8	-	75.8	24.1								
	男性：まあ満足している	30	23.3	43.3	20.0	10.0	3.3	66.6	30.0								
	男性：少し不満である	10	20.0	20.0	50.0	10.0	-	40.0	60.0								
	男性：不満である	7	28.6	-	28.6	28.6	14.3	28.6	57.2								
無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.6	-									

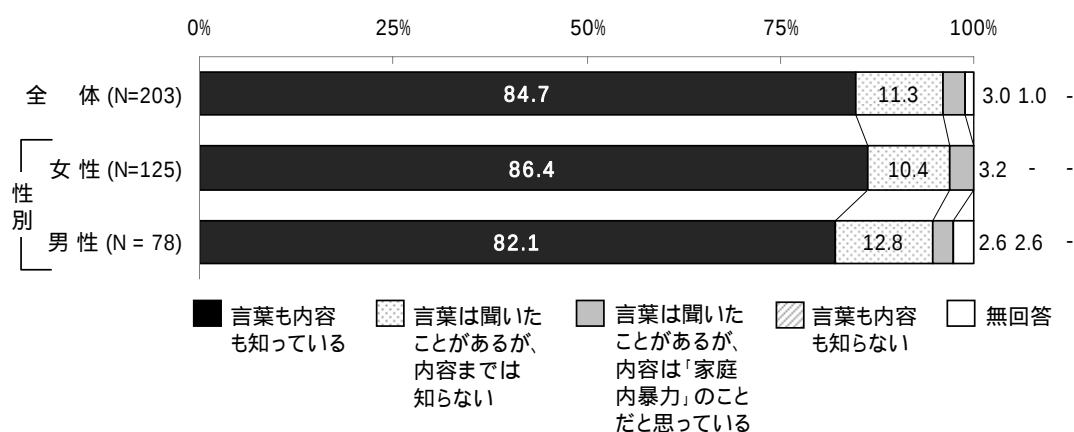
第3章 暴力などの人権侵害について

1. 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の認知度

問11. あなたは、「ドメスティック・バイオレンス（DV：配偶者パートナーからの暴力）」について知っていますか。（○印は1つ）

●DVについて、約85%の人が言葉も内容も知っている。

図3-1 「ドメスティック・バイオレンス（DV）」の認知度 [全体、性別]



ドメスティック・バイオレンス（DV）について知っているかをたずねたところ、「言葉も内容も知っている」が84.7%となっており、DVの認知度は高い。「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(11.3%)は約1割であり、「言葉は聞いたことがあるが、内容は「家庭内暴力（子どもから親への暴力など）」のことだと思っている」(3.0%)や「言葉も内容も知らない」(1.0%)は少ない。

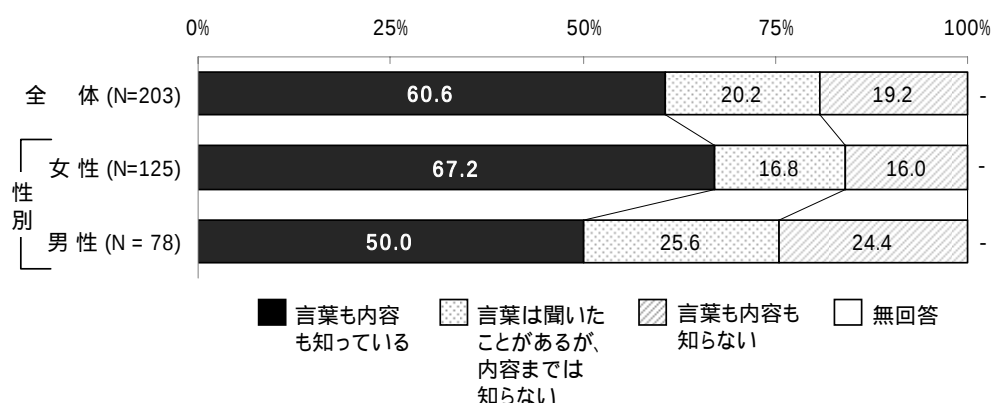
性別にみると、男女の差はそれほど大きくないが、「言葉も内容も知っている」は女性の方が4.3ポイント高い。

2. 「デートDV」の認知度

問12. 恋人関係にある者の間での暴力を、特に「デートDV」と言うことがあります、このことについて知っていますか。(○印は1つ)

- デートDVについて、言葉も内容も知っているのは約6割。
- 女性に比べて、男性の認知度が低い。

図3-2 「デートDV」の認知度 [全体、性別]



デートDVについて知っているかをたずねたところ、「言葉も内容も知っている」は60.6%となっており、前問のDVの認知度に比べると24.1ポイント低い。「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」は20.2%、「言葉も内容も知らない」は19.2%となっている。

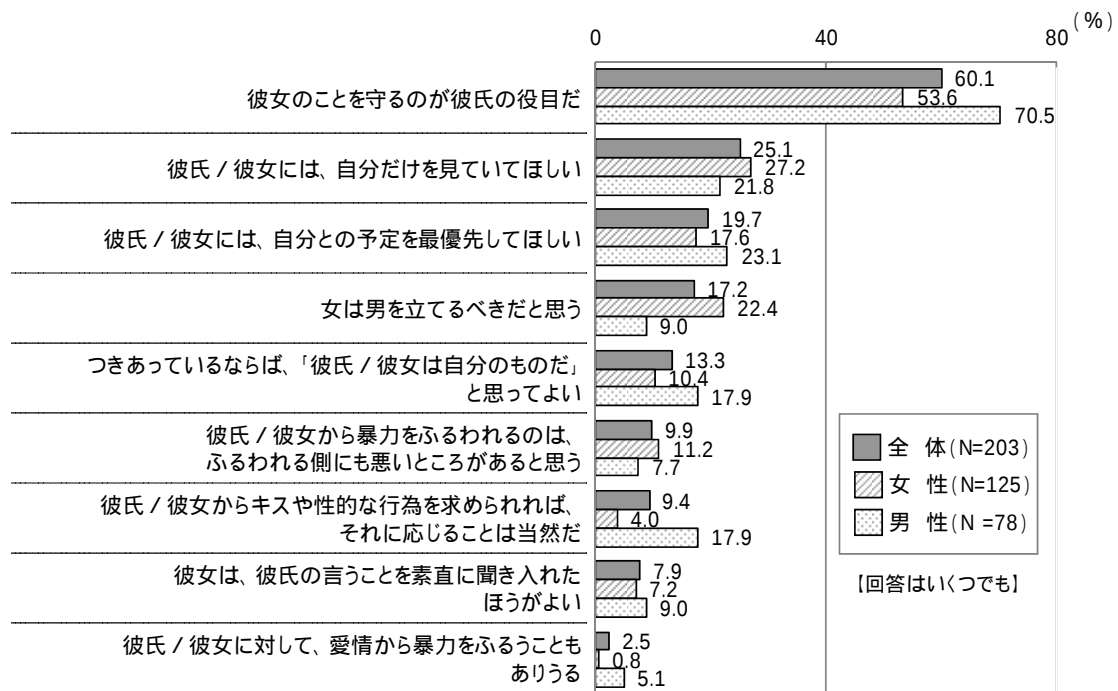
性別にみると、前問のDVとは違い、デートDVの認知度は男女でかなりの差がみられる。「言葉も内容も知っている」は、女性では67.2%と7割近いが、男性はちょうど5割に留まり、17.2ポイントの差がある。「言葉は聞いたことがあるが、内容までは知らない」(女性16.8%、男性25.6%)、「言葉も内容も知らない」(同16.0%、24.4%)は約8～9ポイントそれぞれ男性の方が高い。

3. 彼氏 / 彼女との関係についての考え方

問 13 . 彼氏または彼女(彼氏/彼女)との関係について、あなたの考えをおたずねします。
 次にあげる項目について、あなたの考えに近いものを選んでください。
 (○印はいくつでも)

●彼氏が彼女を守るべきであるという、固定的な性別役割に基づく考えを約 6 割が支持。

図 3 - 3 彼氏 / 彼女との関係についての考え方 [全体、性別]



彼氏 / 彼女との関係でデートDVに該当する、あるいはデートDVにつながりやすい考え方に対して自身の考えに近いものを選んでもらったところ、「彼女のことを守るのが彼氏の役目だ」が60.1%と圧倒的に高くなっている。次いで35ポイントほど下がって、「彼氏 / 彼女には、自分だけを見てほしい」(25.1%)や「彼氏 / 彼女には、自分との予定を最優先してほしい」(19.7%)、「女は男を立てるべきだと思う」(17.2%)などとなっている。

性別にみると、「彼女のことを守るのが彼氏の役目だ」(女性 53.6%、男性 70.5%)、「彼氏 / 彼女からキスや性的な行為を求められれば、それに応じることは当然だ」(同 4.0%、17.9%)、「つきあっているならば、「彼氏 / 彼女は自分のものだ」と思ってよい」(同 10.4%、17.9%)などは男性の方の割合が高く、反対に「女は男を立てるべきだと思う」(同 22.4%、9.0%)は女性が13.4ポイント高い。

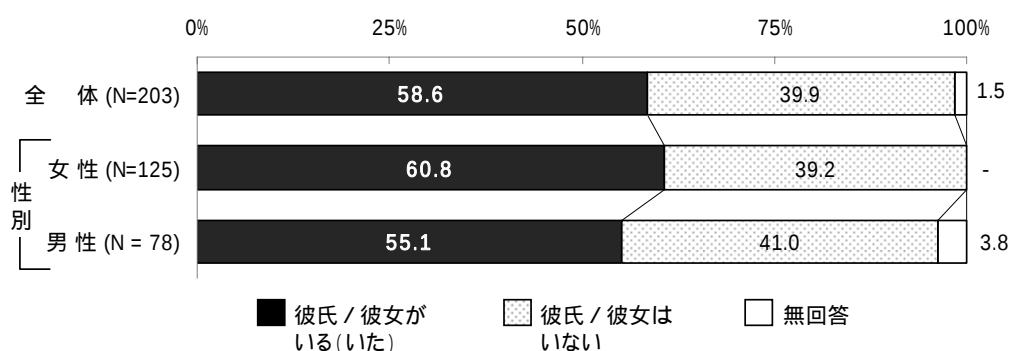
4. 彼氏／彼女との関係

(1) 彼氏／彼女の有無

問14. あなたは、現在、または過去に、彼氏または彼女がいましたか。(○印は1つ)

●これまでに彼氏／彼女がいた(いる)経験がある人は約6割。

図3-4 彼氏／彼女の有無[全体、性別]



現在、または過去に「彼氏／彼女がいる(いた)」人の割合は58.6%となっている。

性別にみると、「彼氏／彼女がいる(いた)」割合は、女性が60.8%、男性が55.1%で、女性の方が5.7ポイント高い。

属性別特徴

年齢別にみると、女性では17歳以上になると「彼氏／彼女がいる(いた)」が「彼氏／彼女はいない」を上回るようになり、割合は6割前後となる。

表3-1 彼氏／彼女の有無[全体、年齢別]

		標本数	い彼 る氏 (い た女 が)	い彼 ない 氏/ 彼女 は	無 回 答
全 体		203 100.0	119 58.6	81 39.9	3 1.5
年 齢 別	女性:16歳	3	33.3	66.7	-
	女性:17歳	32	65.6	34.4	-
	女性:18歳	35	57.1	42.9	-
	女性:19歳	47	61.7	38.3	-
	男性:16歳	3	66.7	-	33.3
	男性:17歳	13	53.8	46.2	-
	男性:18歳	25	36.0	60.0	4.0
	男性:19歳	35	65.7	31.4	2.9
	無回答	10	70.0	30.0	-

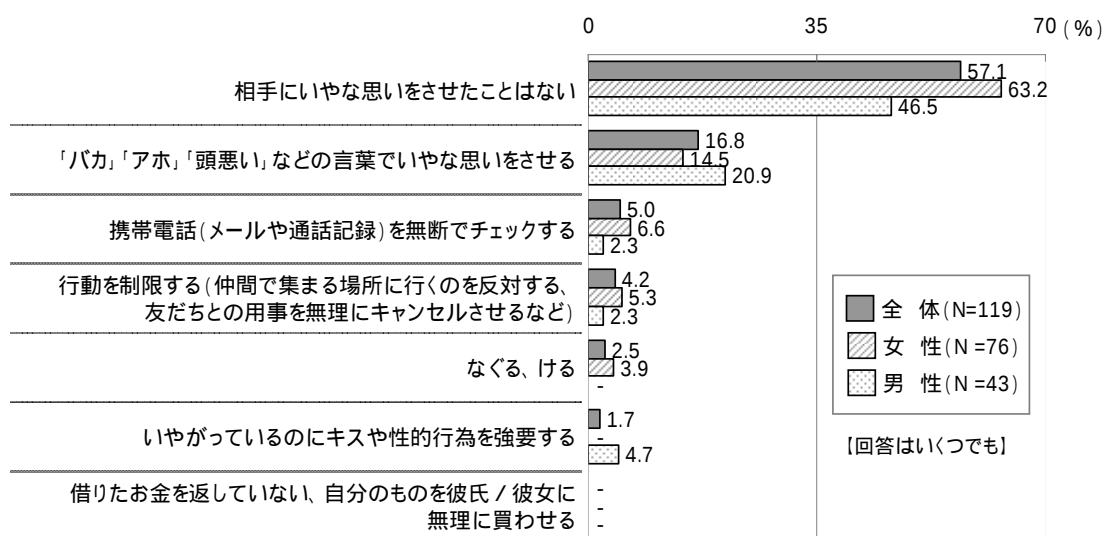
(2) 彼氏／彼女へしたことがある行為

問14 - 1 (問14で「1. 彼氏／彼女がいる(いた)」と答えた方に)

あなたは次のような行為を彼氏／彼女にすることがありますか。(○印はいくつでも)

- デートDVに該当する行為の中で、したことがある人が多いのは罵倒や束縛などの精神的暴力である。

図3 - 4 彼氏／彼女へしたことがある行為 [全体、性別]



交際経験がある人を対象に、デートDVに該当する行為について、自身がしたことがあるかをたずねたところ、57.1%の人が「相手にいやな思いをさせたことはない」としている。したことのあ
る人が最も多いのは「「バカ」「アホ」「頭悪い」などの言葉でいやな思いをさせる」で16.8%が経験している。次いで多いのが「携帯電話(メールや通話記録)を無断でチェックする」(5.0%)と
「行動を制限する(仲間で集まる場所に行くのを反対する、友だちとの用事を無理にキャンセルさせるなど)」(4.2%)でいずれも5%程度となっている。

性別にみると、「相手にいやな思いをさせたことはない」とする割合は、女性が63.2%であるの
に対して、男性は46.5%と女性より16.7ポイント低くなっている。「「バカ」「アホ」「頭悪い」な
どの言葉でいやな思いをさせる」(女性14.5%、男性20.9%)は、女性よりも男性の方が6.4ポイ
ント高く、約2割が経験している。「いやがっているのにキスや性的行為を強要する」という性的
暴力については男性の4.7%が該当している。

(3) 彼氏／彼女からされたことがある行為

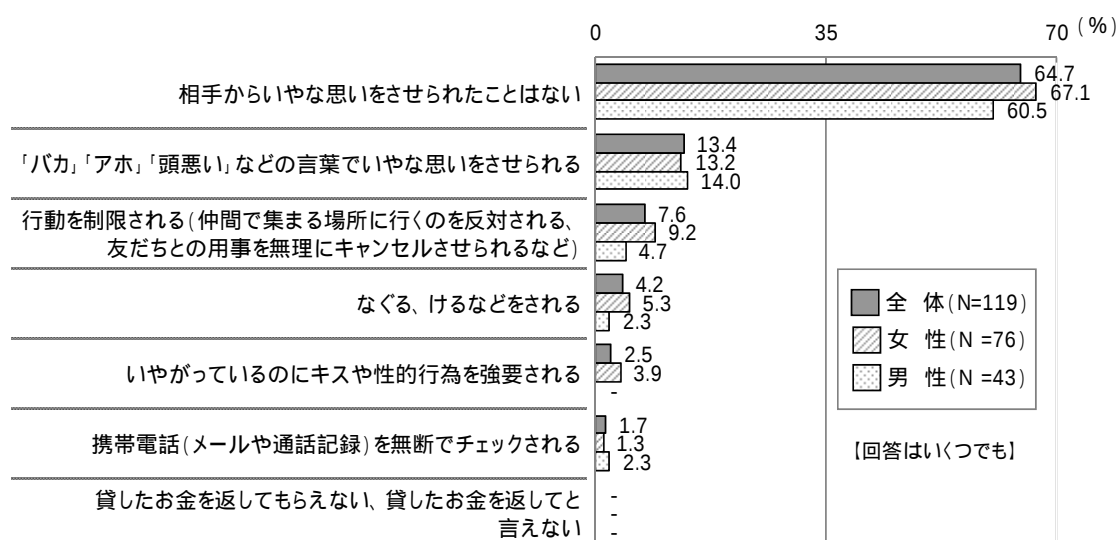
問14 - 2 (問14で「1. 彼氏／彼女がいる(いた)」と答えた方に)

あなたは、次のような行為を彼氏／彼女からされたことがありますか。

(○印はいくつでも)

●デートDVに該当する行為の中で、された経験が多いのも精神的暴力である。

図3 - 5 彼氏／彼女からされたことがある行為 [全体、性別]



交際経験がある人を対象に、デートDVに該当する行為をされた経験についてたずねたところ、「相手からいやな思いをさせられたことはない」は64.7%となっている。された経験が多いのは、した経験と同様に「バカ」「アホ」「頭悪い」などの言葉でいやな思いをさせられる」で13.4%となっている。次いで、「行動を制限される(仲間で集まる場所に行くのを反対される、友だちとの用事を無理にキャンセルさせられるなど)」が7.6%となっている。

性別にみると、「相手からいやな思いをさせられたことはない」は、女性が67.1%、男性が60.5%で女性の方が6.6ポイント高い。「行動を制限される(仲間で集まる場所に行くのを反対される、友だちとの用事を無理にキャンセルさせられるなど)」(女性9.2%、男性4.7%)も女性の方が高く、約1割が経験している。「いやがっているのにキスや性的行為を強要される」は、女性の3.9%が経験している。

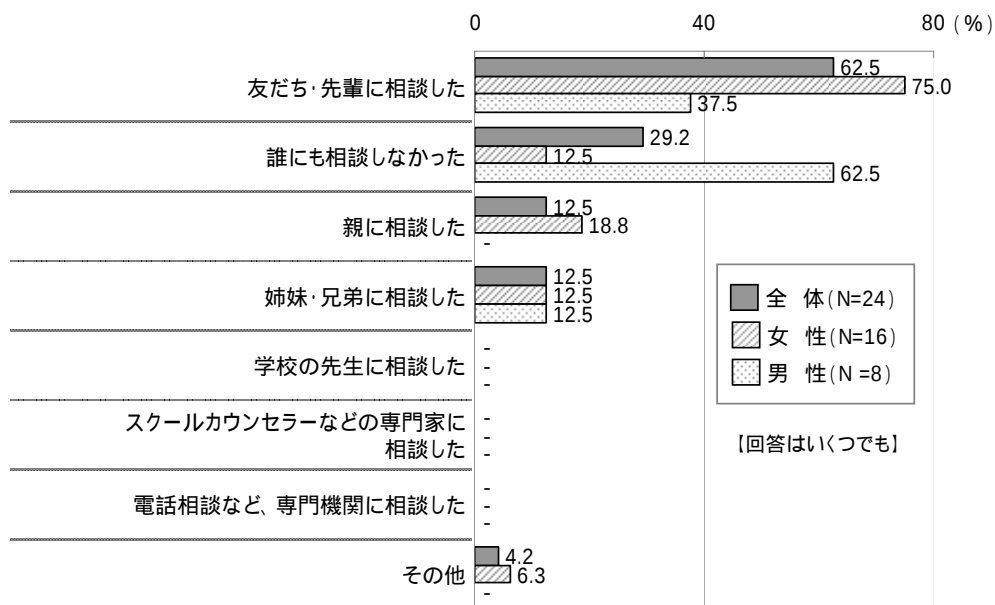
調査結果の分析

(4) 相談先

問14 - 2 - 1 (問14 - 2で1.～6.に1つでも○がついた方に)
その時、誰かに相談しましたか。(○印はいくつでも)

- 最も多い相談先は「友だち・先輩」。
- 男性の場合は誰にも相談しない場合が多い。

図3 - 6 相談先 [全体、性別]



DVに該当する行為をされた経験がある人に相談先をたずねたところ、「友だち・先輩に相談した」が最も多く62.5%となっている。「親に相談した」と「姉妹・兄弟に相談した」は、ともに12.5%、学校の先生やスクールカウンセラー、専門機関などに相談した人は皆無となっている。「誰にも相談しなかった」(29.2%)人は約3割となっている。

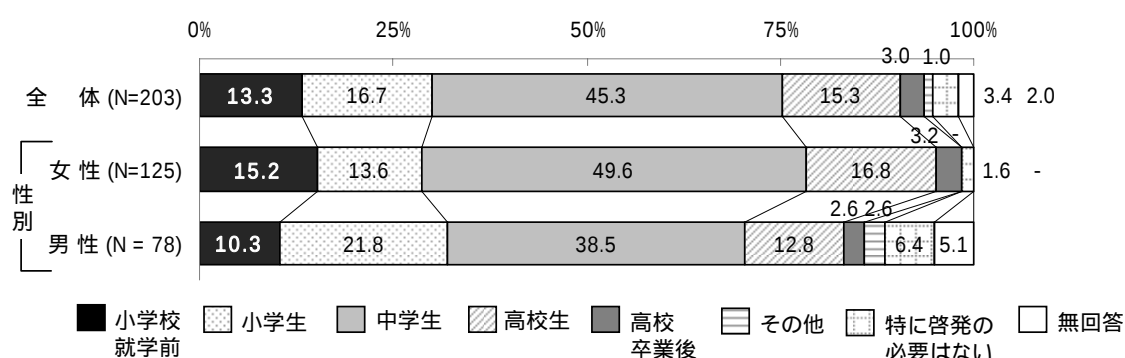
性別にみると、「友だち・先輩に相談した」は、女性が75.0%、男性が37.5%となっており、女性が男性の倍近い割合となっている。男性では「誰にも相談しなかった」が62.5%と高い。

5. DV防止の啓発を行う時期について

問15. 配偶者・パートナーや恋人の間における暴力を防止するためには啓発が重要ですが、あなたは、いつごろから啓発することが大切だと思いますか。(○印は1つ)

●DV防止の啓発について、「中学生」から行うべきと考えている人が多い。

図3-7 DV防止の啓発を行なう時期について〔全体、性別〕



DV・デートDV防止のための啓発を、いつごろから行うべきだと思うかをたずねたところ、「中学生」が45.3%で圧倒的に多くなっている。その他には、「小学校就学前」(13.3%)、「小学生」(16.7%)、「高校生」(15.3%)がいずれも15%前後となっている。

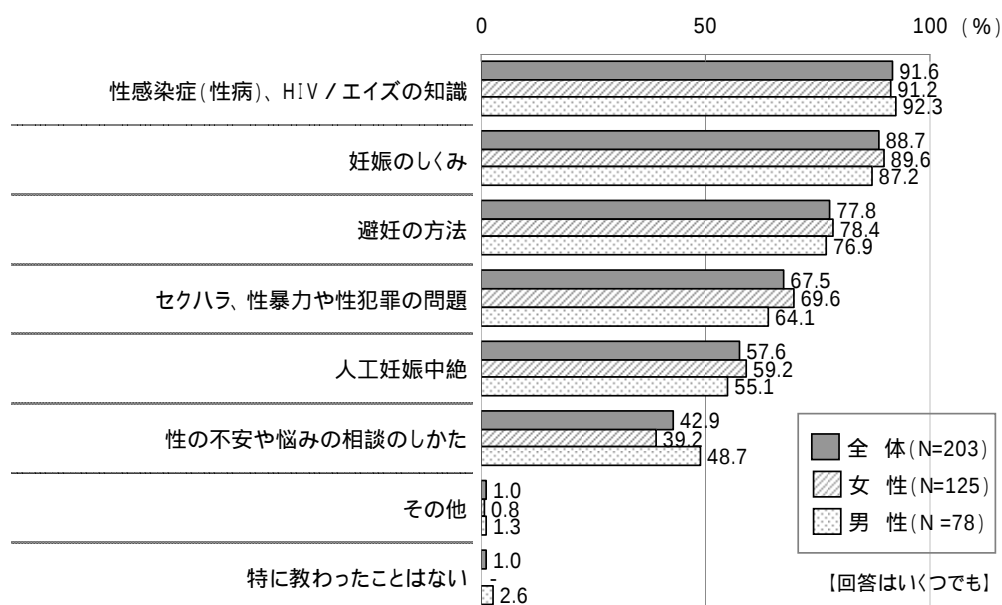
性別にみると、「中学生」(女性49.6%、男性38.5%)から啓発を行うべきとする割合は、女性の方が11.1ポイント高く、ほぼ5割を占めている。男性では、「小学生」(同13.6%、21.8%)からとする割合が女性より8.2ポイント高くなっている。男性では、「特に啓発の必要はない」と考えている人が6.4%存在する。

6. 学校教育で教わった性教育の内容

問16. あなたは、いままでに、次のような内容を学校教育の中で教わりましたか。
(○印はいくつでも)

- 「性感染症の知識」や「妊娠のしくみ」など、一般的な性教育については約9割の人が受けている。

図3-8 学校教育で教わった性教育の内容 [全体、性別]



これまでに学校教育の中で教わったことがある事柄をたずねたところ、「性感染症（性病）HIV / エイズの知識」(91.6%)と「妊娠のしくみ」(88.7%)が、いずれも約9割と高くなっている。次いで、「避妊の方法」(77.8%)と「セクハラ、性暴力や性犯罪の問題」(67.5%)が7割前後となっている。

性別にみると、「性の不安や悩みの相談のしかた」(女性 39.2%、男性 48.7%)は、男性の方が9.5ポイント高くなっているが、その他の事柄は男女の差があまりなく、男女で共通した内容の教育が行われていることを伺わせる結果となっている。

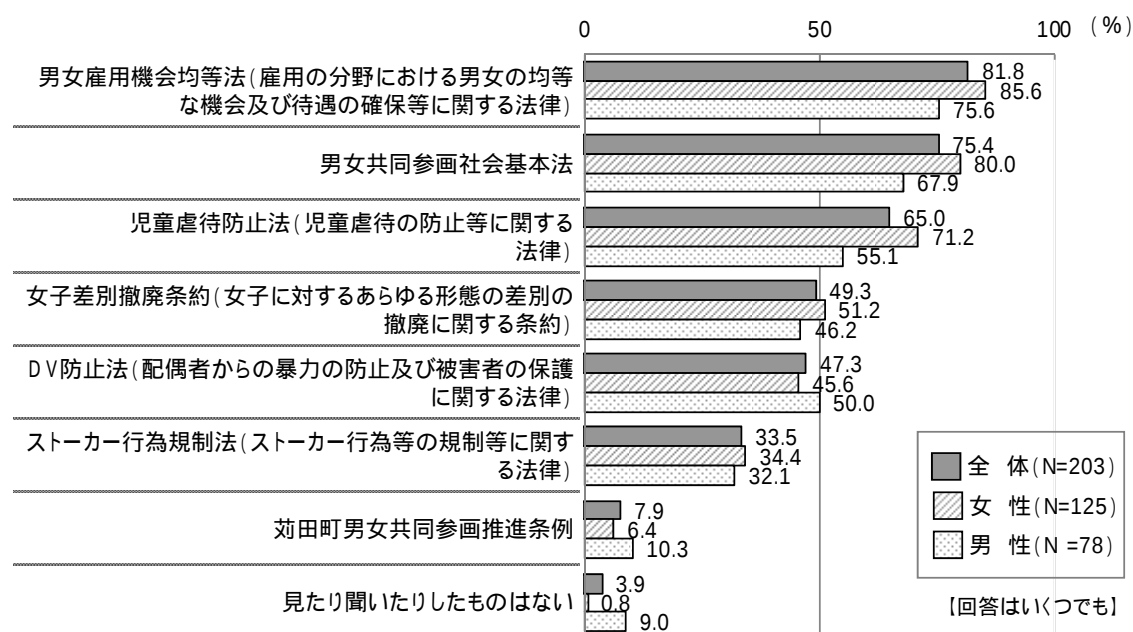
第4章 男女共同参画社会づくりについて

1. 法律や制度等の認知状況

問17 次の法律などについて、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。
(○印はいくつでも)

- 「男女雇用機会均等法」「男女共同参画社会基本法」の認知度は7割以上と高い。
- 「DV防止法」「ストーカー行為規制法」の認知度は5割以下に留まっている。

図4-1 法律や制度等の認知状況〔全体、性別〕



男女共同参画に関わる法律や制度の中で、見聞きしたことがあるものをたずねたところ、「男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）」が81.8%と高い割合を示している。次いで「男女共同参画社会基本法」（75.4%）と「児童虐待防止法（児童虐待の防止等に関する法律）」（65.0%）が7割前後となっている。青少年にとって、自身に関係する可能性がある「ストーカー行為規制法（ストーカー行為等の規制等に関する法律）」の認知度は33.5%とあまり高くはない。「苅田町男女共同参画推進条例」は7.9%に留まる。

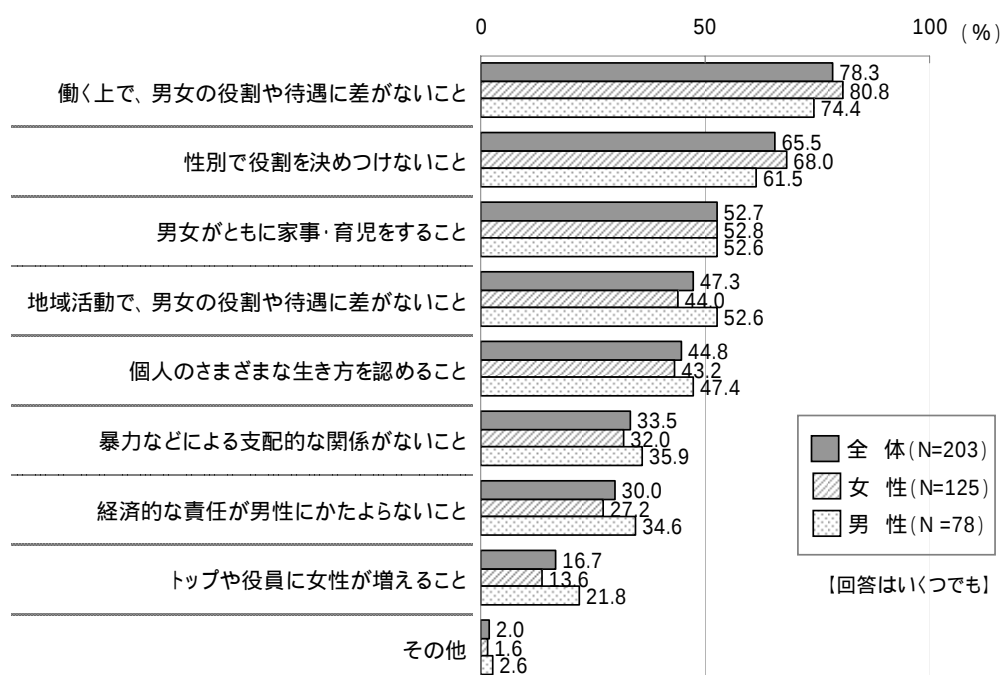
性別にみると、女性の方が認知度の高い法律や制度が多く、「男女雇用機会均等法（雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律）」（女性85.6%、男性75.6%）や「男女共同参画社会基本法」（同80.0%、67.9%）「児童虐待防止法（児童虐待の防止等に関する法律）」（同71.2%、55.1%）では男性より10ポイント以上高くなっている。「DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）」（同45.6%、50.0%）は、男性の方が4.4ポイント高い。

2. 男女共同参画のイメージ

問 18 . あなたは男女共同参画とはどのようなことだと思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。(○印はいくつでも)

●男女共同参画の具体的なイメージは、雇用や就業における平等をあげる人が多い。

図 4 - 2 男女共同参画のイメージ [全体、性別]



男女共同参画のイメージに当てはまるものを選んでもらったところ、最も高かったのは「働く上で、男女の役割や待遇に差がないこと」(78.3%)で約8割となっている。その他に高いのは、「性別で役割を決めつけないこと」(65.5%)、「男女がともに家事・育児をすること」(52.7%)、「地域活動で、男女の役割や待遇に差がないこと」(47.3%)となっている。

性別にみると、全体的に男女の差は小さいが、「働く上で、男女の役割や待遇に差がないこと」(女性80.8%、男性74.4%)と「性別で役割を決めつけないこと」(同68.0%、61.5%)は女性の方が6.5ポイント程度高くなっている。「経済的な責任が男性にかたよらないこと」(同27.2%、34.6%)や「トップや役員に女性が増えること」(同13.6%、21.8%)、「地域活動で、男女の役割や待遇に差がないこと」(同44.0%、52.6%)は男性の方が約7～9ポイント高くなっている。

属性別特徴

性別役割分担意識別にみると、男女とも性別役割分担に反対する人は賛成する人に比べほとんどの項目で割合が高くなっており、男女共同参画のイメージを様々な角度から見る事ができているようである。

表4 - 1 男女共同参画のイメージ [全体、性別役割分担意識別]

		(%)														
		標 本 数	待 遇 に 差 が な い こ と	を 男 女 が と も に 家 事 ・ 育 児	た よ ら な い こ と	経 済 的 な 責 任 が 男 性 に か	地 域 活 動 で 、 男 女 の 役 割	え る こ と	ト ッ プ や 役 員 に 女 性 が 増	性 別 で 役 割 を 決 め つ け な い こ と	を 個 人 の さ ま ざ ま な 生 き 方 を 認 め る こ と	個 人 の さ ま ざ ま な 生 き 方 を 認 め る こ と	関 係 が な い こ と	暴 力 な ど に よ る 支 配 的 な	そ の 他	無 回 答
全 体		203 100.0	159 78.3	107 52.7	61 30.0	96 47.3	34 16.7	133 65.5	91 44.8	68 33.5	4 2.0	5 2.5				
性別 役割 分割 分 担 意 識 別	女性：賛成	8	62.5	37.5	25.0	50.0	25.0	50.0	37.5	25.0	-	12.5				
	女性：どちらかといえば賛成	26	76.9	38.5	30.8	57.7	11.5	65.4	46.2	23.1	-	-				
	女性：どちらかといえば反対	44	79.5	68.2	20.5	43.2	18.2	81.8	45.5	36.4	-	-				
	女性：反対	25	100.0	64.0	48.0	40.0	16.0	84.0	56.0	36.0	-	-				
	女性：わからない	21	76.2	28.6	14.3	28.6	-	33.3	23.8	33.3	9.5	4.8				
	男性：賛成	4	50.0	50.0	-	75.0	-	75.0	75.0	50.0	-	-				
	男性：どちらかといえば賛成	26	76.9	42.3	26.9	53.8	11.5	65.4	38.5	19.2	3.8	-				
	男性：どちらかといえば反対	18	83.3	61.1	33.3	44.4	33.3	72.2	38.9	44.4	-	11.1				
	男性：反対	10	90.0	90.0	70.0	70.0	50.0	80.0	70.0	50.0	-	-				
男性：わからない	19	57.9	36.8	31.6	42.1	10.5	31.6	47.4	36.8	5.3	5.3					
無回答		2	50.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-				